職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月	IB	校長名			所在地			
専門学校ルネサン		平成21年3月2	5日 中	野 勘次郎	〒 (住所)	430-0943 静岡県浜松市中央	区北田町134-38			
ト・アカデミン・設置者名	; =	設立認可年月	IB .	代表者名		053-455-2550	所在地			
	+ 4			理事長	=	430-0943				
学校法人 爽情	有会	平成20年3月2	т ф	野 勘次郎	(電話)	静岡県浜松市中央 053-450-0820	区北田町130-12			
分野		認定課程名	認定学	44名	専門	士認定年度	高度専門士認定	年度	職業実践	専門課程認定年度
文化・教養	専門課程	(文化・教養関係)	動物看護的	币科3年制	令和	1(2019)年度	-		平成2	6(2014)年度
学科の目的	One Healt	hの理念のもと、動物	の命を守る事で、	人々の命と社	会生活を守	る動物看護師を育成	する。			
		資格:愛玩動物看護師 者:2名(中退率1.8%)	/愛玩動物飼養管	理士2級/ペッ	ト栄養管理士	-/サービス接遇検定	/コミュニケーション	検定初級		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要 単位		t総 i	構義	演習	実習	実	験	実技
3 年	昼間	※単位時間、単位いずれ かに記入	3,215 単位時	間 1,611	単位時間単位	0 単位時間 単位	1,604 単位時間 単位		単位時間単位	① 単位時間 単位
生徒総定員	生徒実	至員(A) 留学生数	【(生徒実員の内数)(B) 留学生	割合(B/A)					
120 人	100	Д.	0 人	C	1 %					
	■午来有第	x (0)	29)	人					
	■ 汎戦	至有数 (D) 数 (C)	29		<u> </u>					
	■はピノレがルギ	现 往奴 (1)	18		<u> </u>					
	■就職率 ■就職率		10 割本 (E/E)	0	%	•				
	■泦職者	こ占める地元就職者の	割合 (F/E) 62	2	%					
	■卒業者	こ占める就職者の割合	(E/C)			•				
The state of the s	■進学者数	数	10 0		人					
	■その他					:				
	(令和	5 年度卒業者	に関する令和6年5	5月1日時点の1	吉報)					
		職先、業界等) / 1	H TIX/					
	(令和5年)									
	動物病院									
	■昆問の	評価機関等から第三	考 証価・			無				
第三者による		計画機関等から第二 、例えば以下について				///				
学校評価		is to the					評価結果を掲載した			
		評価団体:		受審年月:			ホームページURL			
当該学科の	/ /	. ,	, ,							
ホームページ URL	nttps.//	www.rap.ac.jp/cour	se/vn/							
	(Δ・甾伝	立時間による算定)								
	(A. + E	総授業時数						3 215	単位時間	
			と連携した実験・	宝型・宝はのは	写学				単位時間	
					X #K HT 933					
			と連携した演習の	授耒時 剱					単位時間	
		うち必修授							単位時間	
			うち企業等と連						単位時間	
			うち企業等と連	隽した必修の演	習の授業時数	<u> </u>		0	単位時間	
企業等と連携した		(うち企業	等と連携したイン	ターンシップの	0授業時数)			300	単位時間	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか										
に記入)	(B:単位	対数による算定)								
		総授業時数							単位	
		うち企業等	と連携した実験・	実習・実技の技	受業時数				単位	
		うち企業等	と連携した演習の	授業時数					単位	
		うち必修授	業時数						単位	
			うち企業等と連	携した必修の実	験・実習・乳	冥技の授業時数			単位	
			うち企業等と連	携した必修の演	習の授業時数	d			単位	
		(うち企業	等と連携したイン	ターンシップの	D授業時数)				単位	
		① 専修学校の専門課								
		てその担当する教育等 門課程の修業年限と当	該業務に従事した		(専修学	交設置基準第41条第1項	(第1号)	2	人	
		して六年以上となる者								
		@ #+o#!+++	Z 字 笠		/ Tales have about	大卵栗甘油佐料をかって	5年2月)		_	
		② 学士の学位を有す				交設置基準第41条第1項			٨ .	
教員の属性(専任教員について記		③ 高等学校教諭等紹	験者		(専修学	交設置基準第41条第1項	(第3号)	0	人	
教員について記 入)		④ 修士の学位又は専	門職学位		(専修学	交設置基準第41条第1項	(第4号)	0	人	
		⑤ その他			(専修学	交設置基準第41条第1項	(第5号)	1	人	
		計						5	Д	
		0								
		上記①~⑤のうち、実 の実務の能力を有する	務家教員(分野に 者を想定)の数	おけるおおむ	ね5年以上の	実務の経験を有し、た	かつ、高度	5	人	

- 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行ってい ること。」関係
- (1) 教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。) における企業等との連携に関する基本方針
- ・挨拶、掃除は社会人の初歩的かつ重要技能と位置付け、企業との連携授業においても徹底する。 ・「就職後にこそ伸びシロのある」人材育成のために、接客やコミュニケーションスキルを必須履修事項として取り組む。 ・教育課程編成委員会、企業訪問を実施し、業界の動向や必要とされる技術の実態を常に刷新する。
- (2) 教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

委員会は専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーの教育課程の編成に対し、年2回開催される教育課程編成委員会にて意見を発し、また教育課 程の運営を評価する権限を有する。教育課程編成委員会での討議内容は議事録として残し、学科長を中心に次年度学科運営計画を策定。学校長の 承認を経て、講師会にて常勤・非常勤講師に共有する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年9月30日現在

名 前	所 属	任期	種別
中野 勘次郎	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 学校長	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	
中野良太	学校法人爽青会 副理事長	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	
藤原 研一	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 副校長	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	
村瀬 晋司	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	
清水 香織	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	
下司 睦子	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	
鈴木 保子	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	
佐伯潤	帝京科学大学	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	2
旭あすか	りんごの樹動物病院	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	3

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。) ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、

 - 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

教育課程編成委員会は10月および2月の年2回開催とする

(開催日時(実績))

第 1 回 令和6年10月1日 第 2 回 令和7年2月25日 17:00~18:30 14:00~15:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

国家資格を保有する愛玩動物看護師が、動物病院に今以上に貢献する方法として、超音波検査等の画像診断の検査技術向上や高齢動物ケア、リハ ビリテーションの知識習得、動物病院以外での活躍の場として、動物愛護管理センター、シェルター、出版社、保険会社等への就職方法を検討す る

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

臨床現場で必要とされる看護技術および症例検討を重視した授業を実施するため、現役獣医師や動物看護師を派遣していただける企業を選定している。また、期末には試験を実施して、評価までを依頼している。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

2・3年生の授業を中心に、4月から1月にかけて27回の授業を実施。講義や実習を通して、現在の臨床現場で必要な知識・技術を現役獣医師・動物 看護師から学ぶ。授業理解度、積極性、筆記試験や実技試験による習得度を確認の上、評価をお願いしている。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	科目概要	連携企業等
動物臨床看護学各論	内科的疾患について疾患の機序と症状、検査法、治療法を理解出来る。	片浜どうぶつ病院
動物外科看護学	外科的疾患について疾患の機序と症状、検査法、治療法を理解出来る。	日本動物高度医療センター 名古屋病院
動物内科看護学実習	臨床検査の手順や検査結果を理解し、検査が実践出来る。	アサギ動物病院
動物病理学	疾病の成り立ちと回復の促進に寄与する動物看護方法を理解できる	だて動物病院
動物薬理学	獣医療現場で使用される主な薬剤の特性、作用機序、有害作用を理解 し、薬剤を正しく取り扱うことが出来る。	マスダ動物クリニック

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。) の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

就業規則 第26条(教育)に定める通り、職員は常に教養と品性を高め、学校が期待する社員像を目指して研鑽に努めなければならない。そのために学校は職員に対して一般的または職務上必要な一般的な知識および情報に関する教育、専門的な知識、技能に対する教育、管理、監督者教育などの教育を行う。研修等については教務責任者が職員の職能や今後の中・長期的な学校運営を考慮して計画し、実施する。また、当初の計画にない場合でも、必要に応じて実施する。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 日本臨床獣医学フォーラム2023年次大会 連携企業等: 一般社団法人日本臨床獣医学フォーラム

期間: 令和5年9月23日(土)24日(日) 対象: 動物看護師科教務4名

内容 最新の獣医療に関する知見を各獣医師、製薬会社、医療機器メーカーより学ぶ。同時に海外からの演者によるセミナーにて獣医療の企業の対象を表現する

ペロー の今後の動向を確認する。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 新任教員研修 連携企業等: 静岡県職業教育振興会

期間: 令和5年8月7日(月) 対象: 動物看護師科教務4名

専修学校の新任教員等が、専修学校教員として必要な基礎的知識を習得する機会を設けるもの。一般財団法人職業教育キャリア教内容 育財団「新任教員研修のプログラム」に準拠したものになっているため、所定の単位を取得すると、同財団から「教員認定証」を

受けることができる。また、中堅教員の「振り返り」等としての受講も可能。

(3) 研修等の計画

内容

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 日本臨床獣医学フォーラム2024年次大会 連携企業等: 一般社団法人日本臨床獣医学フォーラム

期間: 令和6年9月21日(土)・22日(日) 対象: 動物看護師科教務4名

内容 最新の獣医療に関する知見を各獣医師、製薬会社、医療機器メーカーより学ぶ。同時に海外からの演者によるセミナーにて獣医療

^{内谷} の今後の動向を確認する。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 新任教員研修 連携企業等: 静岡県職業教育振興会

期間: 令和6年8月1・2日 対象: 動物看護師科教務3名

専修学校の新任教員等が、専修学校教員として必要な基礎的知識を習得する機会を設けるもの。一般財団法人職業教育キャリア教

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに 当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

就職先企業関係者、職能団体関係者等により構成される学校関係者評価委員会により、年度末に実施する「自己点検・評価」を外部の目線で評価 し、あわせて授業視察、学内施設見学を実施することにより、ルネサンス デザイン・美容専門学校および専門学校ルネサンス・ペット・アカデ ミーにおける教育の質保証・向上を図る。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	1 教育理念・目標
(2)学校運営	2 学校運営
(3)教育活動	3 教育活動
(4)学修成果	4 学修成果
(5)学生支援	5 学生支援
(6)教育環境	6 教育環境
(7)学生の受入れ募集	7 学生の受入れ募集
(8)財務	9 財務
(9) 法令等の遵守	8 教育の内部質保証システム
(10)社会貢献・地域貢献	10 社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	11 国際交流(必要に応じて)

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

卒業生フォロー体制について、再就職希望者への窓口はあったほうが良い

→ 再就職希望者問い合わせ用メールアドレスを作成し、ホームページ内「卒業生ページ」に設置 就職課を窓口として、次回WEBサイト更新時に公開予定

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
上野弘道	公益社団法人日本動物病院協会 専務理事	令和5年4月1日~令和7年3月31日	業界・団体
望月智	株式会社ジェットスタジオ 取締役	令和5年4月1日~令和7年3月31日	企業等
平井伸幸	株式会社レボル 代表取締役社長	令和5年4月1日~令和7年3月31日	企業等
坂元祥彦	一般財団法人 動物看護師統一認定機構 理事	令和5年4月1日~令和7年3月31日	業界・団体

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他()

URL: https://www.rap.ac.jp/about/information/documents/2023_report.pdf

公表時期: 令和6年5月12日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

在校生の出身高等学校に対しては、年数回の高校訪問において在籍状況、就職活動進捗などをリアルタイムで報告・情報提供/収集し、学生指導の質的向上を図る。公式Webサイトは主に入学希望者とその保護者、就職企業等に対する情報提供、Facebookページは卒業生に向けた情報発信と、役割を分ける。学校運営状況については毎年財務状況に関する書類を公開・更新する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	理事長挨拶 法人概要 沿革(公式WEBサイト)
(2) 各学科等の教育	学科紹介(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(3)教職員	講師・設備(公式WEBサイト)
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職実績(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(5)様々な教育活動・教育環境	授業ブログ(公式WEBサイト)
(6) 学生の生活支援	学科紹介・保護者の皆様へ(公式WEBサイト)
(7) 学生納付金・修学支援	募集要項(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(8)学校の財務	財務計算に関する書類(公式WEBサイト)
(9)学校評価	自己点検・評価および学校関係者評価報告書(公式WEBサイト)
(10)国際連携の状況	_
(11) その他	_

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法 ホームページ・

・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(説明会での説明))

URL: https://www.rap.ac.jp/about/information/

公表時期: 随時

授業科目等の概要

	(専門課程(文化・教養関係) 動物看護師科3年制)														
	択しい		自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数		演	実験・実習・実技	校	校	専兼任任任	ے 0
1	0			生命倫理・動物福祉	生命倫理の考え方及び動物福祉の概要を学び、愛玩動物、産業動物、 実験動物、展示動物の福祉を考えられる。	1 • 通	30		0			0		0	
2	0			動物形態機能学 I	動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに、病的変化について学ぶ基盤を確立する。	1 • 通	60 0 0					0			
3	0			動物行動学	大や猫の種としての行動様式の特徴を学び、問題行動の原因と対処、 予防法を理解する。	1 • 通	30		0			0		0	
4	0			動物栄養学Ⅰ	5大栄養素やその代謝など基礎栄養学を学ぶとともに、ライフステージごとの食事の違いを学び、解説する事が出来る。	1 • 通	30		0			0		0	
5	0			動物看護関連法規	愛玩動物看護師法や獣医師法等、動物看護に関連する基本的な法規に ついて学び、社会における愛玩動物看護師の役割を理解する事が出来 る。	1 • 通	30		0			0		0	
6	0			動物愛護・適正飼養関連法規	動物の愛護及び適正飼養に関連する様々な法規について学び、人と動物の共生のあり方等を理解する。	1 · 通	30		0			0		0	
7	0			動物看護学概論	獣医療の歴史や愛玩動物看護師の職業倫理について学び、専門職としての社会的責務 を理解し職業意識を形成する。	1 • 通	30		0			0		0	
8	0			動物感染症学 I	微生物や寄生虫の分類、生物学的特性、伝播様式や発病のメカニズム について学び、感染防御に関わる基礎について理解する。	1 • 通	36		0			0		0	
9	0			公衆衛生学 I	環境及び食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康の維持・増進や疾病予防と動物がどのように関わっているか理解する。	1 • 通	30		0		0			0	
10	0			動物内科看護学 I	内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査、採血、投薬、輸 液、輸血に必要な検査、所見の記録等について理解する。	1 • 通	1 · 30			0		0			
11	0			動物臨床検査学	様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の 正しい扱い方に ついて理解する。	1 • 通	30				0	0		0	
12	0			愛玩動物学	愛玩動物や使役動物の歴史、品種、役割、適切な飼養管理方法を理解 する。	1 • 通	60		0			0		0	
13	0			人と動物の関係学 I	動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、 人と動物の関係を心理学的及び社会学的側面から、その実態、課題等 を含めて理解する。	1 • 通	12		0				0	0	
14	0			動物形態機能学実習	動物の身体の形態と機能を、骨格標本や臓器模型、主要臓器の組織像 などを通じて学ぶ。	1 • 前	24				0	0		0	
15	0			動物内科看護学実習Ⅰ	内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を 習得する。	1 • 通	90				0	0		0 0	0
16	0			動物臨床検査学実習	検体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ 知識の実践力を 習得する。	1 • 通	90				0	0		0	
17	0			動物愛護・適正飼養実習IA	動物のトレーニング実習を通じて、飼養管理に関する基本的な取扱いや飼い主とのコミュニケーションなど、愛護・適正飼養学に関連した科目で学んだ知識の実践力を習得する。		22				0	0		0	
18	0			動物愛護・適正飼養実習IB	トリミング実習を通じて、飼養管理に関する基本的な取扱いや飼い主とのコミュニケーションなど、愛護・適正飼養学に関連した科目で学んだ知識の実践力を習得する。		68				0	0		0	
19	0			動物愛護・適正飼養実習IC	動物の飼育を通じて、飼養管理に関する基本的な取扱いや飼い主との 1 コミュニケーションなど、愛護・適正飼養学に関連した科目で学んだ 通 26 知識の実践力を習得する。		0	0		0					
20	0			動物看護総合実習 I	実際の動物診療施設で診療業務に参加し、これまでに学んだ学習内容を統合する。診療施設の概要や機能、獣医師との連携、飼い主とのコミュニケーション、愛玩動物看護師としての役割や責任について理解し、実務能力を修得する。		60				0	0	0	0	0

	1	 		ı	ı				1 1	- 1			
21	0	動物医療コミュニケーシ	コン I 社会人としての常識を身に付けるとともに、サービス接遇検定を取得する。	1 · 通	60		0		0		,	0	
22	0	一般教養	高校までに学習する生物基礎、計算、語彙力を確認し、専門学習を行う基盤とする。	1 · 通	42		0		0		0		
23	0	コンピュータ実習	Word、Excel、PowerPointの使い方を理解し、実践的に使用出来る。	1 • 前	24			0	0		0		
24	0	就職実務I	動物看護総合実習に望む学生として、安全に配慮した基礎的な動物看護を実践できると共に、一般教養としての履歴書の作成、電話応対か 出来る。		18		0		0		0		
25	0	LHR	スケジュール管理・就職活動管理および書類提出納期管理を通して、 自己管理の習慣化ができる。	1 • 通	28		0		0		0		
26	0	ルネサンス・メソド	本校の原点となる理念や考え方を履修し、専門知識・技術と両輪となる学生の「人間カ向上」を図る。	1 · 通	28		0		0		0		
27	0	挨拶I	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践することにより、社会で必要 とされる能力を身に付ける。	1 · 通	28			0	0		0		
28	0	清掃I	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	1 · 通	28			0	0		0		
29	0	動物関連施設実習	動物関連施設における実習を通し、動物関連の様々な職種を理解できる。	1 特別	30			0		0	0		
30	0	動物形態機能学Ⅱ	動物の生命維持の仕組みを機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに、症的変化について学ぶ基盤を確立する。		60		0		0		(0	
31	0	動物繁殖学	繁殖に関わる形態と機能を学び、妊娠・分娩と新生児管理、遺伝学の 基礎知識を習得する。	2 · 通	30		0		0		0		
32	0	比較動物学 I	飼養動物や野生動物の概要を理解するとともに、産業動物の歴史や品種、飼養管理法について学ぶ。	2 · 通	60		0		0		0	0	
33	0	動物病理学 I	様々な疾病が組織や臓器にもたらす変化を学び、病態(炎症、腫瘍等) について理解する。	2 · 後	18		0		0		(0	0
34	0	動物薬理学 I	代表的な薬物の動態と作用機序、臨床応用及び副作用について学び、 動物の疾病の診断や治療にどのように用いられるかを理解する。	2 · 後	36		0		0		0		0
35	0	動物感染症学Ⅱ	微生物の分類、生物学的特性、伝播様式や発病のメカニズムについて 学び、検査や診断、衛生管理、予防・治療法など感染防御に関わる基 礎について理解する。	2 .	36		0		0		0		
36	0	公衆衛生学Ⅱ	環境及び食品衛生、疫学、人獣共通感染症の概要を理解し、人と動物の健康の維持・増進や疾病予防への応用について理解する。	2 · 通	30		0		0		0		
37	0	動物内科看護学Ⅱ	内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、心電図、X線検査、超音波 検査、眼科検査に必要な検査、所見の記録等について理解する。	2 · 通	60		0		0		0		
38	0	動物外科看護学	外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術 後管理までの周術期の流れを系統的に理解し、安全な手術の実施に必 要な知識を習得する。		60		0		0		(0	0
39	0	動物臨床看護学総論	動物看護過程の一連のプロセスを学び、事例ごとの個別性に重きを置いた動物看護の基本的な考え方を習得する。	2 • 通	30		0		0		(0	
40	0	動物臨床看護学各論 I	様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や 必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。	2 · 通	90		0		0		(0	0
41	0	動物医療コミュニケーシ	事前問診、入院動物の容態説明、院内における他のスタッフとのコミュニケーションの基礎について理解する。	2 • 通	30		0		0		(0	
42	0	人と動物の関係学Ⅱ	HABがもたらす人と動物への影響を理解するとともに、現代社会における動物関連諸問題への関心を高める。	2 · 通	18		0			0	(0	
43	0	動物生活環境学	動物の行動様式を理解した上で、ペットツーリズム関連施設、保護収容施設、ペットの事故や怪我などのリスク除去軽減や飼育マナーについて学び、人とペットとの共生のための生活環境の在り方を理解する。	1 .	30		0		0		0		
44	0	動物形態機能学実習Ⅱ	動物の内臓器官の配置や組織像に見られる代表的な構造に関し、機能 と関係について理解する。	2 · 前	12			0	0		0		
45	0	動物内科看護学実習Ⅱ	生体検査における必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を習得する。	2 · 通	90			0	0		0	0	0
		 •		•		•		 					

					2		1	Т		- 1	Т	Т	
46	0		動物外科看護学実習I	手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助など、 動物の外科学で学んだ知識の実践力を習得する。	2 · 後	54			0	0	(0	
47	0		動物愛護・適正飼養実習ⅡA	動物のトレーニング実習を通じて、飼養管理に関する基本的な取扱い や問題行動の解決法など、愛護・適正飼養学に関連した科目で学んだ 知識の実践力を習得する。		56			0	0	C		
48	0		動物愛護・適正飼養実習ⅡB	トリミング実習を通じて、飼養管理に関する基本的な取扱いや日常の ケア方法など、愛護・適正飼養学に関連した科目で学んだ知識の実践 力を習得する。		44			0	0	C	0	
49	0		動物愛護・適正飼養実習ⅡC	動物の飼育を通じて、飼養管理に関する基本的な取扱いや動物の世話の後輩への指導を通して、愛護・適正飼養学に関連した科目で学んだ知識の実践力を習得する。		10			0	0	C		
50	0		動物看護総合実習Ⅱ	受付業務、院内コミュニケーション、診療補助等の臨床経験から、専門職としての知識を活かして技術を実践できる。	2 · 後	60			0		0		0
51	0		保定実習 I	犬猫の処置や検査に適した保定が実践できる。	2 · 前	30			0	0	()	
52	0		海外授業	海外の動物病院、動物保護施設の見学を通して、日本流ペットケア・ 動物看護を考える事ができる。	2 · 後	30			0		0)	
53	0		就職実務Ⅱ	就職活動に必要な情報収集、履歴書の作成方法やメールスキル等を身に付け、就職活動に備える事ができる。	2 • 前	12	0			0	()	
54	0		動物医療コミュニケーションⅡB	社会人として常識を身につけると共に、コミュニティ検定資格を取得 する。	2 · 通	30	0			0	C	0	
55	0		LHR	社会人に必要な協調性を学びクラス活動に活かすことができる。スケジュール管理・就職活動管理および書類提出納期管理を通して、自己管理の習慣化ができる。	2 通	30	0			0	C	O	
56	0		挨拶Ⅱ	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践することにより、社会で必要 とされる能力を身に付ける。	2 · 通	30			0	0	()	
57	0		清掃Ⅱ	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実践することにより、社 会で必要とされる能力を身に付ける。	2 · 通	30			0	0	0)	
58	0		動物栄養学Ⅱ	ライフステージや疾患ごとの違い、各種療法食の特色や給仕方法を学び、解説する事が出来る。	3 通	48	0			0	()	
59	0		比較動物学Ⅱ	実験動物の品種や飼養管理法、動物実験との関わり、日本の野生動物 の種類と保全、動物園などの展示動物の個体・群管理について学ぶ。	3 . 後	24	0			0	()	
60	0		動物病理学Ⅱ	様々な疾病が組織や臓器にもたらす変化を学び、病態(循環障害、先 天異常等)について理解する。	3 • 前	12	0			0		0	0
61		0	動物薬理学Ⅱ	代表的な薬物の動態と作用機序、臨床応用及び副作用について学び、 動物の疾病の診断や治療にどのように用いられるかを理解する。	3 · 前	24	0			0		0	0
62	0		動物感染症学Ⅲ	免疫、アレルギー、ワクチン等について学び、検査や診断、衛生管理、予防・治療法など感染防御について理解する。	3 · 前	24	0			0	()	
63	0		動物臨床看護学各論Ⅱ	様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。	3 • 通	48	0			0		0	0
64		0	適正飼養指導論	愛玩動物の効用や使用目的を理解した上で、適正飼養の推進活動、災害時の危機管理のあり方、動物愛護管理行政の仕組みについて理解し、説明できる。		60	0			0	C		
65		0	ペット関連産業概論	ペット飼養のニーズや形態、ペット関連産業を構成する業種の概要、 動物取扱業における動物取扱責任者としての実践的知識、手法を理解 する。	3 • 通	48	0			0			
66		0	動物外科看護学実習Ⅱ	手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助など、 動物外科看護学で学んだ知識を実際の手術を通して習得する。	3 • 通	72			0	0	(0	
67		0	動物臨床看護学実習	動物看護過程や疾患別の看護など、動物臨床看護学で学んだ知識を活 かして実践する。	3 • 通	72			0	0	(0	
68	0		動物愛護・適正飼養実習A	犬の行動原理を学び、緊急時の犬の反応にも対応する事が出来る。	3 • 通	44			0	0	()	
69	0		動物愛護・適正飼養実習B	シャンプー仕上げの技術を発展させ、病状に合わせたグルーミングを 身に付ける事が出来る。	3 • 通	44			0	0	(0	

11 ○ 選択 応用動物看護実習													
選択 ドッグトレーニング実習	70	0	動物看護総合実習Ⅲ			60			0		0	0	0
選択)ドッグトレーニング実習 選択)バビー教室開催に向けた準備と企画が出来る。	71	0	選択)応用動物看護実習			(96)			0	0		0	
選択 グルーミング実習	72	0	選択)ドッグトレーニング実習	(選択)パピー教室開催に向けた準備と企画が出来る。		(96)			0	0		0	
1	73	0	選択)グルーミング実習	(選択)AAVサロントリマー検定の資格を取得する事が出来る。		(96)			0	0		0	
	74	0	保定実習Ⅱ			12			0	0		0	
POPデザイン演習 POPデザイン POPF P	75	0	動物医療コミュニケーションⅢ			24	(0		0		0	
後 1	76	0	POPデザイン演習			24	(Э		0		0	
78 ○ 海外授業 海外の動物病院、動物保護施設の見字を通して、日本流へットケア・・・後 30 ○ ○ <td< td=""><td>77</td><td>0</td><td>実務実習</td><td>各就職先に合わせた知識・技術を向上し、即戦力となる人材になる。</td><td>3 • 後</td><td>120</td><td></td><td></td><td>0</td><td>0</td><td></td><td>0</td><td>0</td></td<>	77	0	実務実習	各就職先に合わせた知識・技術を向上し、即戦力となる人材になる。	3 • 後	120			0	0		0	0
19 〇 中来試験対策 うと共に、試験の準備を行う。 後 24 〇 <td>78</td> <td>0</td> <td>海外授業</td> <td></td> <td></td> <td>30</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td>	78	0	海外授業			30			0		0	0	
80 ○ LHR 人の心理学を学ぶ事で、スタッフ間のコミュニケーションを円滑にし、後後 36 ○ ○	79	0	卒業試験対策	国家試験、卒業ライセンス試験の対策として、これまでのまとめを行うと共に、試験の準備を行う。		24	(0		0		0	
1	80	0	LHR			36	(0		0		0	
とされる能力を身に付ける。	81	0	心理学			24	(5		0			
会で必要とされる能力を身に付ける。	82	0	挨拶皿			24			0	0		0	
合計 83科目 科目 3228 単位(単位時間)	83	0	清掃皿			24			0	0		0	
		_	合計	83科目		科目	_	_	3228		È	単位 ()	単位時間)

卒業要件及び履修方法	授業期	間等
卒業要件:卒業制作合格 成績評価がすべてC以上 年間要出席日数の80%以上出席	1 学年の学期区分	2 期
履修方法: 必修/選択必修科目を対面またはオンラインにて受講	1 学期の授業期間	1期:4/1-8/31 2期:9/1-3/31

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年	月日	校長名			所在地				
専門学校ルネサン		平成21年3月		中野 勘次郎	〒 (住所)	430-0943 静岡県浜松市中央					
ト・アカデミン・設置者名	. –	設立認可年		代表者名	(電話)	053-455-2550	所在地				
	± A	平成20年3月	21 🗆	理事長	一	430-0943 静岡県浜松市中央					
学校法人 爽情	7 🛪			中野 勘次郎		053-450-0820		左座		明细和部内左右	
<u>分野</u> 文化・教養	市門押租	認定課程名 (文化・教養関係)		<u>学科名</u> ・トリミング科		9士認定年度 1(2019)年度	高度専門士認定	牛皮	年度 職業実践専門課程認定 令和 3(2021)年度		
				年制			_		un cr	5(2021) 平及	
学科の目的	愛犬に最適	適なスタイルを提案で	きる幅広いカット	、スタイルを身に*	つけた、ペ・	ットスタイリストを配	育成する。				
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)		資格:愛玩動物飼養管 者:1名(中退率9%)	理士2級/ペット第	・養管理士/サービ	ス接遇検定	3級/					
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要	.数	in in in		演習	実習		験	実技	
3 年	昼間	※単位時間、単位いずれ に記入	か 3, 208 単位開 単位	····問 483	単位時間 単位	0 単位時間	2,725 単位時間 単位	0	単位時間単位	0 単位時間	
生徒総定員	生徒実		女 (生徒実員の内数) (
30 人	10 ■卒業者		0 人	2	人						
	■就職希	望者数(D)		2	,	- -					
	■就職者 ■地元就	数(E) 職者数(F)		1	人 人	<u>-</u>					
	■就職率	(E/D)		100	%	- =					
		に占める地元就職者(50	%	-					
	■卒業者(こ占める就職者の割合		100	%						
就職等の状況	■進学者			0	Ž	: -					
	■その他										
	(令和	5 年度卒業者	に関する令和6年5	月1日時点の情報)						
		職先、業界等									
	(令和5年) トリミン	^{隻卒業生)} グサロン									
		評価機関等から第3				無					
第三者による 学校評価							評価結果を掲載した				
	1	評価団体:		受審年月:			ホームページURL				
当該学科の ホームページ	httne://	www. rap. ac. jp/cour	se/ng/								
URL			/ PO/								
	(A:単位	立時間による算定)									
		総授業時数							単位時間		
				実習・実技の授業	持数				単位時間		
			と連携した演習の	授集時数					単位時間		
		うち必修授		携した必修の実験	• 宝型 - 宇+	古の授業時数			単位時間		
				携した必修の実験		xV/IX未可数			単位時間		
A Alle Adv		(うち企業		ターンシップの授					単位時間		
企業等と連携した 実習等の実施状況		()) 11.4									
(A、Bいずれか に記入)	(B:単位	対数による算定)									
1-10/1/		総授業時数							単位		
		うち企業等	と連携した実験・	実習・実技の授業	诗数				単位		
		うち企業等	と連携した演習の	授業時数					単位		
		うち必修授							単位		
				携した必修の実験		支の授業時数			単位		
		(=+ ^*		携した必修の演習					単位		
		(フら近差	サと迷捞したイン	ターンシップの授	末时奴/				半世		
		① 専修学校の専門語	程を修了した後、	学校等において							
	その担当する教育等に従事した者であって、当該専門課 程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)								人		
	年以上となる者										
		② 学士の学位を有る	る者等		(専修学	校設置基準第41条第1項	第2号)	1	人		
教員の属性(専任		③ 高等学校教諭等約	上 上 上 上		(専修学	校設置基準第41条第1項	第3号)	0	Д		
教員について記入)		④ 修士の学位又は専	門職学位		(専修学	校設置基準第41条第1項	(第4号)	0	人		
χ)		⑤ その他				校設置基準第41条第1項			人		
		計							Д		
								•			
		上記①~⑤のうま 5	■ 務家数昌 <i>(</i> ⇔軽 !=	おけるおおわれ	年以上の実	務の経験を有し、かつ) 高度の				
		実務の能力を有する者		0.017 20 00 00 11 00	〒以工の美	カン・柱状で行し、かっ	人間及り	2	Α		

- 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を 行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
- ・挨拶、掃除は社会人の初歩的かつ重要技能と位置付け、企業との連携授業においても徹底する。
- 「就職後にこそ伸びシロのある」人材育成のために、接客やコミュニケーションスキルを必須履修事項として取り組む。
- ・教育課程編成委員会、企業訪問を実施し、業界の動向や必要とされる技術の実態を常に刷新する。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

委員会は専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーの教育課程の編成に対し、年2回開催される教育課程編成委員会にて意見を発し、また 教育課程の運営を評価する権限を有する。教育課程編成委員会での討議内容は議事録として残し、学科長を中心に次年度学科運営計画を 策定。学校長の承認を経て、講師会にて常勤・非常勤講師に共有する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年9月30日現在

名 前	所 属	任期	種別
中野 勘次郎	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 学校長	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	
中野 良太	学校法人爽青会 副理事長	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	
藤原 研一	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 副校長	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	
伊藤 雪野	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	
村木 美里	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	
藤野 愛美	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	
鈴木 茜里	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	
浅野 順平	TeRRIeRge 代表取締役社長	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	3
櫻井 春輝	株式会社ルミナス 代表取締役	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	3
福山 貴昭	ヤマザキ動物看護大学 准教授	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	3

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。) ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、
- - 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

教育課程編成委員会は12月および2月の年2回開催とする (外部委員検討中)

(開催日時(実績))

第1回 令和5年9月27日 13:00-14:30

第2回 令和6年2月8日 10:00-11:30

- (5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
- ①トリマーを目指す学生が学ぶべき皮膚病に関する知識レベルを確認し、犬猫健康管理学の授業で皮膚疾患の症状についての内容を追 か。また薬品メーカーによる、薬用シャンプーに関する特別セミナーを実施。 ②それぞれの病院・店舗で使っているカウンセリングシートを参考に、ルネサンス独自のカウンセリングシートを作成し、実習時の受付
- 対応にて飼い主様の要望や悩みを聞き出す実践を行った。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

トリマーは接客業であり、コミュニケーション力は必須のビジネススキルである。接客スキルの向上を目的に、元キャビンアテンダント 等高い接客技術を持つ講師を派遣していただける企業を選定している。また、派遣された講師による年間を通じた定期的な指導から学修 成果の評価を行うなどの体制をとることが可能な企業を選定している。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

4月から1月にかけて、週1日90分間の授業を27回実施。トリミングスキルと同等以上にトリマーに求められるコミュニケーションカ・接客 力を向上させるため、講義系授業においてもロールプレイングを交えた指導を実施。普段の授業の理解度と積極性、また筆記試験による 習得度の確認の上、評価している。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	科目概要	連携企業等
接客技術I	社会人としての基礎的なマナー、コミュニケーションを身 に付け、サービス接遇検定に合格する。	浜松ビジネススクール
接客技術Ⅱ	接客対応を自分から考えて行えるよう、ロールプレイング を交えて学び、ビジネス実務マナー検定に合格する。	浜松ビジネススクール
接客技術皿	ビジネス実務マナー検定、サービス接遇検定2級取得を目指し、実践で使用できる様になる。	浜松ビジネススクール

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

就業規則 第26条(教育) に定める通り、職員は常に教養と品性を高め、学校が期待する社員像を目指して研鑽に努めなければならない。 そのために学校は職員に対して一般的または職務上必要な一般的な知識および情報に関する教育、専門的な知識、技能に対する教育、管理、監督者教育などの教育を行う。研修等については教務責任者が職員の職能や今後の中・長期的な学校運営を考慮して計画し、実施する。また、当初の計画にない場合でも、必要に応じて実施する。

(2) 研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: かわいいカットセミナー 連携企業等: 株式会社プランテージ

期間: 令和5年6月22日(木) 対象: ペットエステ・トリミング科 教務3名

]容 グルーミングでのワンちゃんのかわいい顔バランスの考え方、ポメラニアンのかわいいカットについて

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 新任教員研修 連携企業等: 静岡県職業教育振興会

期間: 令和5年8月5日(金) 対象: ペットエステ・トリミング科 教務1名

専修学校の新任教員等が、専修学校教員として必要な基礎的知識を習得する機会を設けるもの。一般財団法人職業教育キャリア教育財内容 団「新任教員研修のプログラム」に準拠したものになっているため、所定の単位を取得すると、同財団から「教員認定証」を受けることができる。また、中堅教員の「振り返り」等としての受講も可能。

(3) 研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 犬に優しいカットセミナー 連携企業等: 株式会社プランテージ

期間: 令和6年9月10日(火) 対象: ペットエステ・トリミング科 教務4名

内容 犬の扱い方、犬に優しいトリミング技術について学ぶ

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 新任教員研修 連携企業等: 静岡県職業教育振興会

期間: 令和6年8月7日(月)、8月8日(火) 対象: ペットエステ・トリミング科 教務1名

専修学校の新任教員等が、専修学校教員として必要な基礎的知識を習得する機会を設けるもの。一般財団法人職業教育キャ内容 リア教育財団「新任教員研修のプログラム」に準拠したものになっているため、所定の単位を取得すると、同財団から「教

員認定証」を受けることができる。また、中堅教員の「振り返り」等としての受講も可能。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

就職先企業関係者、職能団体関係者等により構成される学校関係者評価委員会により、年度末に実施する「自己点検・評価」を外部の目線で評価し、あわせて授業視察、学内施設見学を実施することにより、ルネサンスデザイン・美容専門学校および専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーにおける教育の質保証・向上を図る。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	1 教育理念・目標
(2)学校運営	2 学校運営
(3)教育活動	3 教育活動
(4)学修成果	4 学修成果
(5)学生支援	5 学生支援
(6)教育環境	6 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	7 学生の受入れ募集
(8)財務	9 財務
(9) 法令等の遵守	8 教育の内部質保証システム
(10) 社会貢献・地域貢献	10 社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	11 国際交流(必要に応じて)

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

卒業生フォロー体制について、再就職希望者への窓口はあったほうが良い→ 再就職希望者問い合わせ用メールアドレスを作成し、ホームページ内「卒業生ページ」に設置、就職課を窓口として、次回WEBサイト更新時に公開予定

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所属	任期	種別
上野弘道	公益社団法人日本動物病院協会 専務理事	令和5年4月1日~令和7年3月31日	業界・団体
望月智	株式会社ジェットスタジオ 取締役	令和5年4月1日~令和7年3月31日	企業等
平井伸幸	株式会社レボル 代表取締役社長	令和5年4月1日~令和7年3月31日	企業等
坂元祥彦	一般財団法人 動物看護師統一認定機構 理事	令和5年4月1日~令和7年3月31日	業界・団体

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: https://www.rap.ac.jp/about/information/documents/2023_report.pdf

公表時期: 令和6年5月12日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

在校生の出身高等学校に対しては、年数回の高校訪問において在籍状況、就職活動進捗などをリアルタイムで報告・情報提供/収集し、学生指導の質的向上を図る。公式Webサイトは主に入学希望者とその保護者、就職企業等に対する情報提供、Facebookページは卒業生に向けた情報発信と、役割を分ける。学校運営状況については毎年財務状況に関する書類を公開・更新する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	理事長挨拶 法人概要 沿革(公式WEBサイト)
(2) 各学科等の教育	学科紹介(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(3)教職員	講師・設備(公式WEBサイト)
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職実績(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(5)様々な教育活動・教育環境	授業ブログ(公式WEBサイト)
(6) 学生の生活支援	学科紹介・保護者の皆様へ(公式WEBサイト)
(7) 学生納付金・修学支援	募集要項(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(8) 学校の財務	財務計算に関する書類(公式WEBサイト)
(9)学校評価	自己点検・評価および学校関係者評価報告書(公式WEBサイト)
(10)国際連携の状況	
(11) その他	_
※ (10) 及び(11) についてけ任音記載	<u> </u>

※ (10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法 ホームページ・

広報誌等の刊行物 · (その他)説明会での説明))

URL: https://www.rap.ac.jp/about/information/

公表時期: 随時

授業科目等の概要

		門課 分類	程 (文化・教養関係) ペットエステ・トリ	「ミング科3年制) 				授	業プ	法	場	所	教	員	
	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講義		実習		校外			企業等との連携
1	0			人と動物の関係学 I	HABがもたらす人と動物への影響を理解するとともに、現代社会における動物関連諸問題への関心が高まる。	1 • 通	15		0				0		0	
2	0			飼養管理士総論	動物飼養に関する知識の習得を通じ、愛玩動物飼養管理士2級に合格 する。	1 • 通	54		0			0			0	
3	0			グルーミング研究 I	グルーミングに関するテーマを設定し、自身で探究したものをプレゼ ンできる。	1 · 後	16				0	0		0		
4	0			犬猫の健康管理学Ⅰ	犬猫の栄養管理、ワクチン接種、寄生虫、解剖を学び、健康チェック を行う事が出来る。	1 • 前	22		0			0		0		
5	0			犬種学	FCIで行われている犬種のグループ分けに従い、歴史、特徴を理解 し、トリミングを行う事が出来る。	1 · 前	11		0			0		0		
6	0			動物関連施設実習	動物関連施設の視察研修を行い業界の広がりを知り、将来のきっかけをつくる。	1 · 特別	30				0		0	0		
7	0			動物飼育実習 I	学校飼育動物(犬・猫・ハムスター・モルモット・フェレット・うさぎ・インコ)を通して飼育管理ができる。	1 • 通	54				0	0		0		
8	0			グルーミング実習 I	犬のグルーミングを通して、犬の保定、手順、時間配分、犬とのコミュニケーションを身に付ける。	1 • 通	585				0	0		0	0	
9	0			動物看護実習 I	動物病院で行われている、健康診断、保定、消毒方法、検査を身に付ける。	1 • 後	32				0	0		0		
10	0			ドッグトレーニング実習 I	犬への基本的なしつけを行いながら、その方法を学び、行動学的観点 から犬の扱い方を身に付ける。	1 · 前	22				0	0		0		
11	0			トリマー接客技術 I	社会人としての基礎的なマナー、コミュニケーションを身に付け、 サービス接遇検定に合格する。	1 · 通	54		0			0			0	0
12	0			コンピュータ実習	Word、Excelの基本的な使用方法を身に付ける。	1 • 前	22				0	0		0		
13	0			LHR	スケジュール管理・就職活動管理および書類提出納期管理を通して、 自己管理の習慣化ができる。	1 · 後	16		0			0		0		
14	0			清掃 I	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実践することにより、社 会で必要とされる能力を身に付ける。	1 · 通	27				0	0		0		
15	0			挨拶 I	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践することにより、社会で必要 とされる能力を身に付ける。	1 • 通	27				0	0		0		
16	0			就職実務I	就職活動に望む学生としての身だしなみや履歴書の書き方、面接練習 等を通して、就職活動を開始できる。	1 • 後	16		0			0		0		
17	0			ルネサンス・メソド	本校の原点となる理念や考え方履修し、専門知識・技術と両輪となる 学生の「人間力向上」を図る。	1 · 通	20		0			0		0		
18	0			人と動物の関係学Ⅱ	HABがもたらす人と動物への影響を理解するとともに、現代社会における動物関連諸問題への関心が高まる。	2 · 通	6		0				0		0	
19	0			ペットショップ実務	業界動向を知り、ペットショップでの販売や売り上げなど、実践的な 実務を理解することができる。	2 · 後	11		0			0		0		
20	0			グルーミング理論Ⅱ	犬種の特徴を基にしたグルーミングを考えることができ、飼い主様へ 分かりやすく説明できる。	2 · 前	10		0			0		0		

-	 1												
0	動物行動学	グルーミング時に起こる犬の行動を理論的に理解し、その対処が実践 でき、飼い主様へ説明できる。	2 · 通	21		0			0		0		
0	犬猫の健康管理学Ⅱ	大猫のフードと栄養、犬の繁殖、遺伝について学び、正しいブリー ディングを説明できる。	2 · 後	22		0			0		0		
0	トリミング実習	カットスタイルを学び、実際の飼い主様の要望を聞き、一般モデル犬 にトリミングを実践できる。	2 · 通	472				0	0		0	0	
0	ペットエステ実習	ペットエステの理論と技術を学び国際資格を取得に向けて、学校犬ま たは自宅犬への施術できる。	2 · 後	33				0	0		0		
0	動物看護実習Ⅱ	動物病院でのオーナーコミュニケーション、電話対応、健康診断を身 に付け実践できる。	2 · 前	20				0	0		0		
0	ドッグトレーニング実習Ⅱ	犬の行動から、精神面を推測し、一般的な対処方法を学ぶと共にトリミングでも応用できる。	2 · 後	22				0	0		0		
0	動物飼育実習Ⅱ	学校飼育動物(犬・猫・ハムスター・モルモット・フェレット・うさぎ・インコ)をとおして飼育方法を説明できる。	2 · 前	10				0	0		0		
0	クリップ研究	ケネルクリップ、ペットクリップの研究をし、なぜそのカットにする のかをお客様へ伝える事が出来る。	2 · 前	20		0			0		0		
0	海外授業	その土地の文化や最先端に触れ、トリミングのあり方や将来を考える ことが出来る。	2 · 後	30				0		0	0		
0	インターンシップ	希望職種へのインターンシップ実習を通して、プロとなるために不可欠な課題の発見とあるべき姿を明確にする。	2 • 前	200				0		0	0		0
0	トリマー接客技術Ⅱ	接客対応を自分から考えて行えるよう、ロールプレイングを交えて学 び、検定に合格する。	2 • 通	21		0			0			0	0
0	清掃Ⅱ	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実践することにより、社 会で必要とされる能力を身に付ける。	2 • 通	21				0	0		0		
0	挨拶Ⅱ	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践することにより、社会で必要 とされる能力を身に付ける。	2 • 通	21				0	0		0		
0	LHR II	スケジュール管理・就職活動管理および書類提出納期管理を通して、 自己管理の習慣化ができる。	2 • 通	21		0			0		0		
0	就職実務Ⅱ	就職活動の本格化に向けて、情報収集、個別調査や具体的準備な面接 対策などを実施し内定獲得につなげる。	2 · 前	10		0			0		0		
0	実務実習	動物業界の現場において、社会人として、また新人スタッフとしての 心構えと役割を理解する事が出来る。	2 · 後	120				0	0		0		
0	グルーミング理論Ⅲ	就職後の新人トリマーとしての必要業務である電話や電子カルテを学 び、実行できる。	3 • 通	21		0			0		0		
0	経営学	店舗経営者の考え方や発想を学び、将来トリマーとして広い視点を 持った人材になる。	3 • 前	20		0			0			0	
0	模擬サロン計画	模擬サロン実習から反省を出し、次回へ活かすべく計画する能力を身 に着ける。	3 . 後	22		0			0		0		
0	卒業研究	就職後に必要とされる知識や技術の向上を目指して、個々のテーマを 設定し発表を行う。	3 · 後	22				0	0		0		
0	動物看護実習Ⅲ	トリミング中に発生する動物の病気、怪我等へ適切に対処し、飼い主 様にも説明ができる。	3 · 後	22				0	0		0		
0	ペットエステ実習	ペットエステの効果を理解し、ハーブパックなどの高度なエステなど を反復して施術し、一般飼い主様に提供できる。	3 • 前	20				0	0		0		
0	トリミング実習皿	模擬サロン実習、デザインカット実習等、これまでのトリミング技術 を応用できる。	3 • 通	473				0	0			0	
		○ 大猫の健康管理学工 ○ トリミング実習 ○ 小りまるのでは、 ○ 動物看護実習工 ○ 力リップ研究 ○ 海外授業 ○ インターンシップ ○ トリマー接客技術工 ○ 大海和工 ○ 大海郡工 ○ 大海東習 ○ 大海東書 ○ 大海東書 ○ 大海東書 ○ 大海東書 ○ 大海東書 ○ 大海東研究 ○ 動物看護実習工 ○ ベットエステ実習	でき、飼い主体へ製作できる。 大腿の健康等理学目	□ 大棚の標金管理学目	□	でき、倒い主体・契綱できる。 ま 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	□	でき、別い主称と関係できる。	でき、飲いませんを得ができる。	でき、仰い生料・機能のできる。	大田の製造管理中日 大田の製造管理 大田の製造を 大田の製造 大田の製造	でき、対しきは、検討できる。	本語の知識者世中国

	1	<u> </u>	T		1	1	- т	- 1	1	1 1				 1
44	0		ドッグトレーニング実習Ⅲ	実際のトリミングで発生する犬の嫌がる行動などを分析し、対処を方 法を学び活かすことができる。	3 • 通	21			0	0		0		
45	0		動物飼育実習Ⅲ	飼育実習のグループリーダーとなり、小動物のお世話を後輩または飼い主様にアドバイスできる。	3 • 前	10			0	0		0		
46	0		インターンシップ	希望職種へのインターン実習を通してプロとなるために不可欠な課題 の発見とあるべき姿を明確にさせる。	3 • 前	200			0		0	0		0
47	0		海外授業	海外におけるトリミングの在り方を学び、日本流トリミングの在り方 や将来を考える事が出来る。	3 • 後	30			0		0	0		
48	0		清掃皿	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実践することにより、社 会で必要とされる能力を身に付ける。	3 • 前	21			0	0		0		
49	0		挨拶Ⅲ	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践することにより、社会で必要 とされる能力を身に付ける。	3 • 通	21			0	0		0		
50	0		トリマー接客技術皿	コミュニケーション検定、サービス接遇検定2級取得を目指し、実践 で使用できる様になる。	3 • 通	21		0		0			0	0
51	0		LHR	スケジュール管理・就職活動管理および書類提出納期管理を通して、 自己管理の習慣化ができる。	3 • 後	11		0		0		0		
52	0		就職実務Ⅲ	就職活動の本格化に向けて、情報収集、個別調査や具体的準備な面接 対策などを実施し内定獲得につなげる。	3 • 前	10		0		0		0		
53	0		実務実習	動物業界の現場において、社会人として、また新人スタッフとしての 心構えと役割を理解する事が出来る。	· 後	120				0		0		
			合計	53	1	4目			3179		単位	立 (.	単位	時間)

卒業要件及び履修方法	授業期間	間等
卒業要件: 卒業制作合格 成績評価がすべて0以上 年間要出席日数の80%以上出席	1 学年の学期区分	2 期
履修方法 : 必修/選択必修科目を対面またはオンラインにて受講	1 学期の授業期間	1期:4/1-8/31 2期:9/1-3/31

2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

⁽留意事項) 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合 については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名 専門学校ルネサンス ト・アカデミ・ 設置者名		設置認可年月	日 校	長名			所在地		
ト・アカデミ	ス・ペッ					130-0943			
設置者名		平成21年3月25		勘次郎		静岡県浜松市中央 053-455-2550			
		設立認可年月		長者名	₹ 4	130-0943	所在地		
学校法人 爽青	会	平成20年3月21		事長 勘次郎	(住所)	静岡県浜松市中央	区北田町130-12		
分野	認定課	程名	認定学科		(電話) 053-450-0820 専門士認定年度 高度専門士認定年度			年度 職業実	践専門課程認定年度
	専門課程(文化		ペットエステ・ト	リミング科		7(2015)年度	=		成26(2014)年度
学科の目的	詞い主様の要望を	正確に表現でき	2年制 るトリミング技術を	持ち、犬との	共存社会に	笑顔を提供できるド	ッグトリマーを育成す	ける。	
	取得可能資格:ペ 中途退学者:1名		シャンブロンズクラ	ス/サービス	妾遇検定3級/	/愛玩動物飼養管理:	±2級/コミュニケーシ	ョン検定初級	
修業年限	昼夜	の修了に必要な 位数	総授業時数又は総単	講	轰	演習	実習	実験	実技
2	昼間 ※単位時 に記入	間、単位いずれか	2, 114 単位時間 単位		単位時間単位	① 単位時間 単位	1,768 単位時間 単位	0 単位時間	0 単位時間 単位
生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数	(生徒実員の内数) (B)	留学生割			7-14	7-14	74
60 人	43 人		0 人	0	%				
	■卒業者数 (C)	(5)	19	1	Ż.				
-	■就職希望者数 ■就職者数(E)	(D)	19 19		人				
	■地元就職者数	(F)	12		\(\)				
Ī	■就職率(E/D)		100		%				
	■就職者に占める	の地元就職者の割	引合 (F/E) 63		%				
	■卒業者に占める	就職者の割合	(E/C)		,				
	■進学者数		100		<u>%</u> 人				
	■進子日奴 ■その他		v		^				
	(令和	5. 年度卒業者に	関する令和6年5月1日	日時占の情報)					
	■主な就職先、		ייי ש+ייי דעריייי איי	□ = 1 mt ∨ン 月 軒収)					
	■ 土 な 帆 戦 九 、 (令和5年度卒業生								
			ペットショップ						
	- D 00 a 57 / T 114	99 <i>6</i> 44 1. > <i>6</i> 44 = +	, 5.T. /TT						
l s	■民間の評価機 ※有の場合、例えば					無			
第三者による ² 学校評価							評価結果を掲載した		
, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	評価団体	:		受審年月:			評価結果を掲載した ホームページURL		
当該学科の									
ホームページ h	nttps://www.rap	o. ac. jp/course	/pg/						
URL									
	(A:単位時間に	よる算定)					_		_
	総授業田	寺数						2,114 単位時間	
		うち企業等と	連携した実験・実習・	実技の授業時	i数			0 単位時間	
		うち企業等と	連携した演習の授業問	导数				0 単位時間	
		うち必修授業	時数					2, 114 単位時間	Л
			うち企業等と連携し	た必修の実験	・実習・実技	の授業時数		0 単位時間	
			うち企業等と連携し						-
		(うち企業年	と連携したインターン					() 単位時間	I .
企業等と連携した 実習等の実施状況		、ノラ正未守	こたのりに「ファーノ	- ノ ノ ノ ひ 1丈 オ	-13 MA/			0 単位時間	
	/ D M ILL							0 単位時間	
(A、Bいずれか	(B:単位数によ	7 体 中、							
(A Bいずれか								200 単位時間	
(A、Bいずれか	総授業田	寺数	生雄 上 本歌 上 二	m+ -1	- 101			200 単位時間	
(A、Bいずれか		うち企業等と	連携した実験・実習・		数			200 単位時間 単位 単位	
(A、Bいずれか		うち企業等と うち企業等と	連携した演習の授業時		数			200 単位時間 単位 単位 単位	
(A、Bいずれか		うち企業等と	連携した演習の授業時		5 数			200 単位時間 単位 単位	
(A、Bいずれか		うち企業等と うち企業等と	連携した演習の授業時	持数		の授業時数		200 単位時間 単位 単位 単位	
(A、Bいずれか		うち企業等と うち企業等と	連携した演習の授業時 時数	特数た必修の実験	・実習・実技	の授業時数		200 単位時間 単位 単位 単位 単位	
(A、Bいずれか		き数 うち企業等と うち企業等と うち必修授業	連携した演習の授業的 時数 うち企業等と連携し	特数 た必修の実験 た必修の演習(・実習・実技 D授業時数	の授業時数		200 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位	
(A、Bいずれか		き数 うち企業等と うち企業等と うち必修授業	連携した演習の授業的時数 うち企業等と連携して うち企業等と連携して	特数 た必修の実験 た必修の演習(・実習・実技 D授業時数	の授業時数		200 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
(A、Bいずれか		き数 うち企業等と うち企業等と うち必修授業	連携した演習の授業的時数 うち企業等と連携して うち企業等と連携して	特数 た必修の実験 た必修の演習(・実習・実技 D授業時数	の授業時数		200 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
(A、Bいずれか	総授業6	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	連携した演習の授業明時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携し と連携したインターン を修了した後、学校	特数 た必修の実験 た必修の演習の た必修の演習の たいの を ない たい を ない	・実習・実技 D授業時数	の授業時数		200 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
(A、Bいずれか	教授業年	・ 対 うち企業等と うち必修授業 (うち企業等 (うち企業等 な教育等に従る教育等に従る教育等に従る教育等に従る教育等に従る教育等に従る	連携した演習の授業的時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携した うち企業等と連携したインターン	特数 た必修の実験 た必修の演習の レシップの授者 等におい課程の	・実習・実技 D授業時数 時数)	の授業時数	(第1号)	200 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
(A、Bいずれか	教授業年	寺数 うち企業等と うち企業等と うち必修授業 (うち企業等 (うち企業等 を学校育等業等に移に変し、 な当該業を当該業を当該を当該業を当該業を当該業を当該を当該を当該を当該を	連携した演習の授業的 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携したインターン を修了した後、学校や した者であって、当	特数 た必修の実験 た必修の演習の レシップの授者 等におい課程の	・実習・実技 D授業時数 時数)		(第1号)	200 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
(A、Bいずれか	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	寺数 うち企業等と うち企業等と うち必修授業 (うち企業等 (うち企業等 を学校の専門課程 する教育等に位 を は当該業務に位	連携した演習の授業的 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し と連携したインターン を修了した後、学校 した者であって、当 事した期間とを通算り	特数 た必修の実験 た必修の演習の レシップの授者 等におい課程の	・実習・実技 力授業時数 (専修学校	設置基準第41条第1項		200 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
(A、Bいずれか	① 専の事件を の事業を (2) 学:	専数 うち企業等と うち必修授業 (うち企業等 (うち企業等 (うち企業等 よる教育等に従事する教育等に従事 はと当該業務に領 と出該業務に領	連携した演習の授業明時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携したインターン を修了した後、学校 した者であって、当 事した期間とを通算 者等	特数 た必修の実験 た必修の演習の レシップの授者 等におい課程の	· 実習 · 実技 D授業時数 (専修学校 (専修学校	設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	(第2号)	200 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 1 人	
(A、Bいずれかに記入)	① 専の事件を の事業を (2) 学:	寺数 うち企業等と うち企業等と うち必修授業 (うち企業等 (うち企業等 を学校の専門課程 する教育等に位 を は当該業務に位	連携した演習の授業明時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携したインターン を修了した後、学校 した者であって、当 事した期間とを通算 者等	特数 た必修の実験 た必修の演習の レシップの授者 等におい課程の	· 実習 · 実技 D授業時数 (専修学校 (専修学校	設置基準第41条第1項	(第2号)	200 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
(A、Bいずれかに記入) に記入) 教員の属性(専任教員について記	総授業① 専当修業をなる② 学③ 高:	専数 うち企業等と うち必修授業 (うち企業等 (うち企業等 (うち企業等 よる教育等に従事する教育等に従事 はと当該業務に領 と出該業務に領	連携した演習の授業明時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携し と連携したインターン を修了した後、学校 した者であって、当 事した期間とを通算 者等	特数 た必修の実験 た必修の演習の レシップの授者 等におい課程の	、実習・実技 が授業時数 (専修学校 (専修学校 (専修学校	設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	第2号)	200 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 1 人	
(A、Bいずれかに記入)	総授業① 専当修業をなる② 学③ 高:	・ 対	連携した演習の授業明時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携し と連携したインターン を修了した後、学校 した者であって、当 事した期間とを通算 者等	特数 た必修の実験 た必修の演習の レシップの授者 等におい課程の	、実習・実技 が授業時数 (専修学校 (専修学校 (専修学校 (専修学校	設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	第2号) 第3号) 第4号)	200 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 2 人	_
(A、Bいずれかに記入) に記入) 教員の属性(専任 教員について記	・ (1) (1) (2) (2) (3) (6) (4) (6) (6) (7)(4) (6) (6) (7) (7)(5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	・ 対	連携した演習の授業明時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携し と連携したインターン を修了した後、学校 した者であって、当 事した期間とを通算 者等	特数 た必修の実験 た必修の演習の レシップの授者 等におい課程の	、実習・実技 が授業時数 (専修学校 (専修学校 (専修学校 (専修学校	設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	第2号) 第3号) 第4号)	200 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 1 人 0 人 1 人	
(A、Bいずれかに記入) に記入) 教員の属性(専任教員について記	総授業の集業をの業をを② 学:③ 高④ 修:	・ 対	連携した演習の授業明時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携し と連携したインターン を修了した後、学校 した者であって、当 事した期間とを通算 者等	特数 た必修の実験 た必修の演習の レシップの授者 等におい課程の	、実習・実技 が授業時数 (専修学校 (専修学校 (専修学校 (専修学校	設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	第2号) 第3号) 第4号)	200 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 2 人	_
(A、Bいずれかに記入) に記入) 教員の属性(専任教員について記	・ (1) (1) (2) (2) (3) (6) (4) (6) (6) (7)(4) (6) (6) (7) (7)(5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	・ 対	連携した演習の授業明時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携し と連携したインターン を修了した後、学校 した者であって、当 事した期間とを通算 者等	特数 た必修の実験 た必修の演習の レシップの授者 等におい課程の	、実習・実技 が授業時数 (専修学校 (専修学校 (専修学校 (専修学校	設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	第2号) 第3号) 第4号)	200 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 1 人 0 人 1 人	
(A、Bいずれかに記入) に記入) 教員の属性(専任 教員について記	総授業の担業の担業をなる② 学③ 高④ 修⑤ その計	専数 うち企業等と うち企業等と うち必修授業 (うち企業等 とうち必修授業 (うち企業等 を学校の専門に従る当該業務(で) (する) (する) (する) (する) (する) (する) (する) (する	連携した演習の授業明時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携し と連携したインターン を修了した後、学校 した者であって、当 事した期間とを通算 者等 者 職学位	特数 た必修の実験 た必修の演習の シシップの授業 等においてそ 咳専門課程の して六年以上	・実習・実技 D授業時数 (専修学校 (専修学校 (専修学校 (専修学校	設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	(第3号) (第3号) (第4号) (第5号)	200 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 1 人 0 人 1 人 4 人	_
(A、Bいずれかに記入) に記入) 教員の属性(専任 教員について記	総授業の担業の担業をなる② 学③ 高④ 修⑤ その計	専数 うち企業等と うち企業等と うち必修授業 (うち企業等 (うち企業等 を学校の専門課程等 な教育等に促 はと当該業務に促 はの学位を有する 等学校教諭等経動 との学位又は専門 の世	連携した演習の授業明時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携し と連携したインターン を修了した後、学校 した者であって、当 事した期間とを通算 者等 者 職学位	特数 た必修の実験 た必修の演習の シシップの授業 等においてそ 咳専門課程の して六年以上	・実習・実技 D授業時数 (専修学校 (専修学校 (専修学校 (専修学校	設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	(第3号) (第3号) (第4号) (第5号)	200 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 1 人 0 人 1 人	

- 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の 編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
- ・挨拶、掃除は社会人の初歩的かつ重要技能と位置付け、企業との連携授業においても徹底する。
- ・「就職後にこそ伸びシロのある」人材育成のために、接客やコミュニケーションスキルを必須履修事項として取り組む。
- ・教育課程編成委員会、企業訪問を実施し、業界の動向や必要とされる技術の実態を常に刷新する。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

委員会は専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーの教育課程の編成に対し、年2回開催される教育課程編成委員会にて意見を発し、また教育課程の運営を評価する権限を有する。教育課程編成委員会での討議内容は議事録として残し、学科長を中心に次年度 学科運営計画を策定。学校長の承認を経て、講師会にて常勤・非常勤講師に共有する。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年9月30日現在

名 前	所 属	任期	種別
中野 勘次郎	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 学校長	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	
中野良太	学校法人爽青会 副理事長	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	
藤原 研一	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 副校長	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	
伊藤 雪野	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	
村木 美里	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	
藤野 愛美	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	
鈴木 茜里	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	
浅野 順平	TeRRIeRge 代表取締役社長	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	3
櫻井 春輝	株式会社ルミナス 代表取締役	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	3
福山 貴昭	ヤマザキ動物看護大学 准教授	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	3

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。
- (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。) ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、
 - - 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

教育課程編成委員会は12月および2月の年2回開催とする (外部委員検討中)

(開催日時(実績))

第1回 令和5年9月27日 13:00-14:30 第2回 令和6年2月8日 10:00-11:30

- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
- ①トリマーを目指す学生が学ぶべき皮膚病に関する知識レベルを確認し、犬猫健康管理学の授業で皮膚疾患の症状についての内容 を追加。また薬品メーカーによる、薬用シャンプーに関する特別セミナーを実施。
- ②それぞれの病院・店舗で使っているカウンセリングシートを参考に、ルネサンス独自のカウンセリングシートを作成し、実習時 の受付対応にて飼い主様の要望や悩みを聞き出す実践を行った。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

トリマーは接客業であり、コミュニケーション力は必須のビジネススキルである。接客スキルの向上を目的に、元キャビンアテンダント等高い接客技術を持つ講師を派遣していただける企業を選定している。また、派遣された講師による年間を通じた定期的な指導から学修成果の評価を行うなどの体制をとることが可能な企業を選定している。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

4月から1月にかけて、週1日90分間の授業を27回実施。トリミングスキルと同等以上にトリマーに求められるコミュニケーションカ・接客力を向上させるため、講義系授業においてもロールプレイングを交えた指導を実施。普段の授業の理解度と積極性、また筆記試験による習得度の確認の上、評価している。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	科 目 概 要	連携企業等
	社会人としての基礎的なマナー、コミュニケーションを 身に付け、サービス接遇検定に合格する。	浜松ビジネススクール
	接客対応を自分から考えて行えるよう、ロールプレイン グを交えて学び、ビジネス実務マナー検定に合格する。	浜松ビジネススクール

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。) の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

就業規則 第26条(教育)に定める通り、職員は常に教養と品性を高め、学校が期待する社員像を目指して研鑽に努めなければならない。そのために学校は職員に対して一般的または職務上必要な一般的な知識および情報に関する教育、専門的な知識、技能に対する教育、管理、監督者教育などの教育を行う。研修等については教務責任者が職員の職能や今後の中・長期的な学校運営を考慮して計画し、実施する。また、当初の計画にない場合でも、必要に応じて実施する。

(2) 研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: かわいいカットセミナー 連携企業等: 株式会社プランテージ

期間: 令和5年6月22日(木) 対象: ペットエステ・トリミング科 教務3名

内容グルーミングでのワンちゃんのかわいい顔バランスの考え方、ポメラニアンのかわいいカットについて

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 新任教員研修 連携企業等: 静岡県職業教育振興会

期間: 令和5年8月5日(金) 対象: ペットエステ・トリミング科 教務1名

専修学校の新任教員等が、専修学校教員として必要な基礎的知識を習得する機会を設けるもの。一般財団法人職業教育キャリア教育財団「新任教員研修のプログラム」に準拠したものになっているため、所定の単位を取得すると、同財団から「教員認定による」となるます。 古た、内閣教員の「振川海川」等としての意味も可能

内容 定証」を受けることができる。また、中堅教員の「振り返り」等としての受講も可能。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 犬に優しいカットセミナー 連携企業等: 株式会社プランテージ

期間: 令和6年9月10日(火) 対象: ペットエステ・トリミング科 教務4名

内容 犬の扱い方、犬に優しいトリミング技術について学ぶ

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 新任教員研修 連携企業等: 静岡県職業教育振興会

期間: 令和6年8月7日(月)、8月8日(火) 対象: ペットエステ・トリミング科 教務1名

専修学校の新任教員等が、専修学校教員として必要な基礎的知識を習得する機会を設けるもの。一般財団法人職業教育キャリア教育財団「新任教員研修のプログラム」に準拠したものになっているため、所定の単位を取得すると、同財団から「教員認

内容 定証」を受けることができる。また、中堅教員の「振り返り」等としての受講も可能。

- 4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係
- (1) 学校関係者評価の基本方針

就職先企業関係者、職能団体関係者等により構成される学校関係者評価委員会により、年度末に実施する「自己点検・評価」を外 部の目線で評価し、あわせて授業視察、学内施設見学を実施することにより、ルネサンス デザイン・美容専門学校および専門学校 ルネサンス・ペット・アカデミーにおける教育の質保証・向上を図る。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	1 教育理念・目標
(2)学校運営	2 学校運営
(3)教育活動	3 教育活動
(4)学修成果	4 学修成果
(5)学生支援	5 学生支援
(6)教育環境	6 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	7 学生の受入れ募集
(8)財務	9 財務
(9) 法令等の遵守	8 教育の内部質保証システム
(10)社会貢献・地域貢献	10 社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	11 国際交流(必要に応じて)

- ※(10)及び(11)については任意記載。
- (3) 学校関係者評価結果の活用状況

本業生フォロー体制について、再就職希望者への窓口はあったほうが良い→ 再就職希望者問い合わせ用メールアドレスを作成し、ホームページ内「卒業生ページ」に設置、就職課を窓口として、次回WEBサイト更新時に公開予定

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

	文兵の 日府		
名 前	所 属	任期	種別
上野弘道	公益社団法人日本動物病院協会 専務理事	令和5年4月1日~令和7年3月31日	業界・団体
望月智	株式会社ジェットスタジオ 取締役	令和5年4月1日~令和7年3月31日	企業等
平井伸幸	株式会社レボル 代表取締役社長	令和5年4月1日~令和7年3月31日	企業等
坂元祥彦	一般財団法人 動物看護師統一認定機構 理事	令和5年4月1日~令和7年3月31日	業界・団体

- ※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
- (例) 企業等委員、PTA、卒業生等
- (5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: https://www.rap.ac.jp/about/information/documents/2023_report.pdf

公表時期: 令和6年5月12日

- 5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

在校生の出身高等学校に対しては、年数回の高校訪問において在籍状況、就職活動進捗などをリアルタイムで報告・情報提供/収集し、学生指導の質的向上を図る。公式Webサイトは主に入学希望者とその保護者、就職企業等に対する情報提供、Facebookページは卒業生に向けた情報発信と、役割を分ける。学校運営状況については毎年財務状況に関する書類を公開・更新する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

	Marie 1977 Over 1 1 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
	理事長挨拶 法人概要 沿革(公式WEBサイト)
	学科紹介(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(3)教職員	講師・設備(公式WEBサイト)
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職実績(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(5)様々な教育活動・教育環境	授業ブログ(公式WEBサイト)
(6) 学生の生活支援	学科紹介・保護者の皆様へ(公式WEBサイト)
(7) 学生納付金・修学支援	募集要項(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(8)学校の財務	財務計算に関する書類(公式WEBサイト)
(9)学校評価	自己点検・評価および学校関係者評価報告書(公式WEBサイト)
(10) 国際連携の状況	_
(11) その他	_

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

ホームページ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他 (説明会での説明))

URL: https://www.rap.ac.jp/about/information/

公表時期: 随時

授業科目等の概要

	-			(文化・教養関係) ペットエステ・ト	リミング科2年制)				1177	3 AIK -1	L.\+	18	=r	+/_	-	
		択必	自由選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講	選 選 習	実験	校内	校		兼任	企業等との連携
1	0			人と動物の関係学I	HABがもたらす人と動物への影響を理解するとともに、現代社会における動物関連諸問題への関心が高まる。	1 · 通	15		0				0		0	
2	0			飼養管理士総論	動物飼養に関する知識の習得を通じ、愛玩動物飼養管理士2級に合格する。	1 • 通	54		0			0			0	
3	0			グルーミング研究 I	グルーミングに関するテーマを設定し、自身で探究したものをプレゼンできる。	1 · 後	16				0	0		0		
4	0			犬猫の健康管理学 I	犬猫の栄養管理、ワクチン接種、寄生虫、解剖を学び、健康チェック を行う事が出来る。	1 · 前	22		0			0		0		
5	0			犬種学	FCIで行われている犬種のグループ分けに従い、歴史、特徴を理解し、トリミングを行う事が出来る。	1· 前	11		0			0		0		
6	0			動物関連施設実習	動物関連施設の視察研修を行い業界の広がりを知り、将来のきっかけをつくる。	1 特別	30				0		0	0		
7	0			動物飼育実習I	学校飼育動物(犬・猫・ハムスター・モルモット・フェレット・うさぎ・インコ)を通して飼育管理ができる。	1 · 通	54				0	0		0		
8	0			グルーミング実習 I	犬のグルーミングを通して、犬の保定、手順、時間配分、犬とのコミュニケーションを身に付ける。	1 · 通	585				0	0		0	0	
9	0			動物看護実習 I	動物病院で行われている、健康診断、保定、消毒方法、検査を身に付ける。	1 · 後	32				0	0		0		
10	0			ドッグトレーニング実習I	犬への基本的なしつけを行いながら、その方法を学び、行動学的観点から犬の扱い方を身に付ける。	1 · 前	22				0	0		0		
11	0			トリマー接客技術 I	社会人としての基礎的なマナー、コミュニケーションを身に付け、 サービス接遇検定に合格する。	1 · 通	54		0			0			0	0
12	0			コンピュータ実習	Word、Excelの基本的な使用方法を身に付ける。	1 · 前	22				0	0		0		
13	0			LHR	スケジュール管理・就職活動管理および書類提出納期管理を通して、 自己管理の習慣化ができる。	1 · 後	16		0			0		0		
14	0			清掃 I	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実践することにより、社 会で必要とされる能力を身に付ける。	1 · 通	27				0	0		0		
15	0			挨拶 I	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践することにより、社会で必要 とされる能力を身に付ける。	1 · 通	27				0	0		0		
16	0			就職実務I	就職活動に望む学生としての身だしなみや履歴書の書き方、面接練習 等を通して、就職活動を開始できる。	1 · 後	16		0			0		0		
17	0			ルネサンス・メソド	本校の原点となる理念や考え方履修し、専門知識・技術と両輪となる 学生の「人間カ向上」を図る。	1 · 通	20		0			0		0		
18	0			人と動物の関係学Ⅱ	HABがもたらす人と動物への影響を理解するとともに、現代社会における動物関連諸問題への関心が高まる。	2 • 通	6		0				0		0	
19	0			ペットショップ実務	業界動向を知り、ペットショップでの販売や売り上げなど、実践的な 実務を理解することができる。	2 · 後	11		0			0		0		

20	0	5	ブルーミング理論 ΙΙ	犬種の特徴を基にしたグルーミングを考えることができ、飼い主様へ 分かりやすく説明できる。	2 · 前	10	0			0	C)	
21	0	重	动物行動学	グルーミング時に起こる犬の行動を理論的に理解し、その対処が実践 でき、飼い主様へ説明できる。	2 · 通	21	0			0	C		
22	0	J	弋猫の健康管理学Ⅱ	犬猫のフードと栄養、犬の繁殖、遺伝について学び、正しいブリー ディングを説明できる。	2 後	22	0			0	C)	
23	0	ŀ	トリミング実習	カットスタイルを学び、実際の飼い主様の要望を聞き、一般モデル犬 にトリミングを実践できる。	2 · 通	472		()	0	C	0	
24	0	ŕ	ペットエステ実習	ペットエステの理論と技術を学び国際資格を取得に向けて、学校犬ま たは自宅犬への施術できる。	2 · 後	33		()	0	С)	
25	0	勇	动物看護実習 Ⅱ	動物病院でのオーナーコミュニケーション、電話対応、健康診断を身 に付け実践できる。	2 · 前	20		()	0	C)	
26	0	ŀ	ドッグトレーニング実習Ⅱ	犬の行動から、精神面を推測し、一般的な対処方法を学ぶと共にトリミングでも応用できる。	2 · 後	22		()	0	С)	
27	0	重	動物飼育実習Ⅱ	学校飼育動物(犬・猫・ハムスター・モルモット・フェレット・うさぎ・インコ)をとおして飼育方法を説明できる。	2 · 前	10		()	0	С)	
28	0	5	フリップ研究	ケネルクリップ、ペットクリップの研究をし、なぜそのカットにする のかをお客様へ伝える事が出来る。	2 · 前	20	0			0	C)	
29	0	淮	 毎外授業	その土地の文化や最先端に触れ、トリミングのあり方や将来を考える ことが出来る。	2 · 後	30		()		0 0)	
30	0	1	インターンシップ	希望職種へのインターンシップ実習を通して、プロとなるために不可欠な課題の発見とあるべき姿を明確にする。	2 · 前	200		()		0 0)	0
31	0	ŀ	トリマー接客技術Ⅱ	接客対応を自分から考えて行えるよう、ロールプレイングを交えて学 び、検定に合格する。	2 · 通	21	0			0		0	0
32	0	汗	青掃 Ⅱ	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実践することにより、社 会で必要とされる能力を身に付ける。	2 · 通	21		()	0	C		
33	0	技	矣拶 Ⅱ	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践することにより、社会で必要 とされる能力を身に付ける。	2 · 通	21		()	0	C)	
34	0	L	HR II	スケジュール管理・就職活動管理および書類提出納期管理を通して、 自己管理の習慣化ができる。	2 · 通	21	0			0	С)	
35	0	京	扰職実務Ⅱ	就職活動の本格化に向けて、情報収集、個別調査や具体的準備な面接 対策などを実施し内定獲得につなげる。	2 · 前	10	0			0	C)	
36	0	j	吴務実習	動物業界の現場において、社会人として、また新人スタッフとしての 心構えと役割を理解する事が出来る。	2 · 後	120		()	0	С)	
			合計	36	1	4目		2	14		単位	〔単	位時間)

卒業要件及び履修方法	授業期間	間等
卒業要件: 卒業制作合格 成績評価がすべてC以上 年間要出席日数の80%以上出席	1 学年の学期区分	2 期
履修方法: 必修/選択必修科目を対面またはオンラインにて受講	1 学期の授業期間	1期:4/1-8/31 2期:9/1-3/31

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合 については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月	日 校長				所在地			
専門学校ルネサン	ス・ペッ				〒 (住記)	430-0943				
ト・アカデミ	<u>:</u> –	平成21年3月25		勘次郎	(住所) (電話)	静岡県浜松市中央区 053-455-2550				
設置者名		設立認可年月	抽音	者名 事長		430-0943	所在地			
学校法人爽言	会	平成20年3月2		₱長 勘次郎	(住所)	静岡県浜松市中央区 053-450-0820	区北田町130-12			
分野		認定課程名	認定学科名		専門]士認定年度	高度専門士認定	年度		厚門課程認定年度 - /
文化・教養	専門課程	(文化・教養関係)	ドッグ・ウェル	ネス科	平成	29(2017)年度	-		平成2	6(2014)年度
学科の目的	犬の健康と	:長生きを支えるととも	に、飼い主に運動・食	事・しつに	ナを楽しく教	え、犬との生活全般の	のアドバイスができる:	犬の専門類	家を育成する	0
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	取得可能資 中途退学者	發格:愛玩動物飼養管理 香:4名(中退率:8.3%)	士2級/サービス接遇検	定3級/ペッ	ット栄養管理	土/マナーハンドラー	-テスト			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な		ii ii	購 義	演習	実習	実	!験	実技
2 年	昼間	※単位時間、単位いずれか に記入	2,053 単位時間 単位	554	単位時間	0 単位時間	1,499 単位時間 単位	0	単位時間単位	0 単位時間 単位
生徒総定員	生徒実	音員(A) 留学生数	(生徒実員の内数) (B)	留学生語	割合(B/A)				•	
80 人	63		0 人	0	%					
	■卒業者	数 (C) 望者数 (D)	13 13		<u> </u>					
	■就職者	数 (E)	13		人					
	■地元就 ■就職率	職者数(F) (E/D)	7 100		<u>人</u>					
		に占める地元就職者の害 に占める地元就職者の害	引合(F/E)							
	■卒業者に	こ占める就職者の割合	54 (E/C)		%					
			100		%					
就職等の状況	■進学者 ■その他	900	0		人					
	(令和		関する令和6年5月1日	日時点の情報	()					
		職先、業界等								
	(令和5年度 ペットシ	^{霞卒業生)} ョップ、動物病院、ド	゙ッグリゾートホテル	、トレー	ニング施設					
第三者による		評価機関等から第三者 、例えば以下について任意				無				
学校評価		評価団体:		受審年月:			評価結果を掲載した ホームページURL			
当該学科の										
ホームページ	https://v	www.rap.ac.jp/course	e/dw/							
URL	/ 4	n+881= L 7 /h -t \								
	(A:単位	時間による算定)						0.050	M (T at Ba	
		総授業時数	連携した実験・実習・	宇はの恒世	* 味 数				単位時間	
			連携した実験・美質・		ent XX				単位時間	
		うち企業寺と		90					単位時間	
		ノの必形技术	うち企業等と連携した	- 必修の宝町	金. 字型. 字:	はの将業時数			単位時間	
			うち企業等と連携した			入り及本时奴			単位時間	
		(うち企業等	と連携したインターン						単位時間	
企業等と連携した 実習等の実施状況		(プラエネサ						250	- 1- 1-1 (M)	
(A、Bいずれか	(B:単位	数による算定)								
に記入)		総授業時数							単位	
		うち企業等と	連携した実験・実習・	実技の授業	時数				単位	
		うち企業等と	連携した演習の授業時	数					単位	
		うち必修授業	時数						単位	
			うち企業等と連携した	必修の実験	美・実習・実	技の授業時数			単位	
			うち企業等と連携した	-必修の演習	習の授業時数				単位	
		(うち企業等	と連携したインターン	シップの授	業時数)				単位	
		① 専修学校の専門課程 その担当する教育等に 程の修業年限と当該業務 年以上となる者	事した者であって、当	該専門課	(専修学	校設置基準第41条第1項	第1号)	1	٨	
		② 学士の学位を有する	者等		(専修学	校設置基準第41条第1項	第2号)	1	Д.	
教員の属性(専任		③ 高等学校教諭等経験				校設置基準第41条第1項			<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	
教員について記		④ 修士の学位又は専門				校設置基準第41条第1項			<u></u>	
入)		⑤ その他	1-100-1- PT						\	
					(导修字	校設置基準第41条第1項	, 5°0 ck			
		計						2	人	
		上記①~⑤のうち、実務 務の能力を有する者を想		おおむね 5	年以上の実績	8の経験を有し、かつ、	高度の実	1	人	
		137の形刀で有りる有を范	(AC) (U)(X)							
	l									

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1) 教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。) における企業等との連携に関する基本方針
- ・挨拶、掃除は社会人の初歩的かつ重要技能と位置付け、企業との連携授業においても徹底する。
- ・「就職後にこそ伸びシロのある」人材育成のために、接客やコミュニケーションスキルを必須履修事項として取り組む。
- ・教育課程編成委員会、企業訪問を実施し、業界の動向や必要とされる技術の実態を常に刷新する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

委員会は専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーの教育課程の編成に対し、年2回開催される教育課程編成委員会にて意見を発し、 また教育課程の運営を評価する権限を有する。教育課程編成委員会での討議内容は議事録として残し、学科長を中心に次年度学科運営 計画を策定。学校長の承認を経て、講師会にて常勤・非常勤講師に共有する。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年9月30日現在

名 前	所属	任期	種別
中野 勘次郎	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 学校長	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	
中野 良太	学校法人爽青会 副理事長	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	
藤原 研一	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 副校長	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	
北風 孝広	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	
山形 幸輔	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	
東海林 克彦	公益社団法人 日本愛玩動物協会 会長	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	1
山下 宏幸	株式会社コジマ 常務取締役	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	3

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の① \sim ③のいずれに該当するか記載すること。
- (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。) ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、
 - 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (8月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年8月29日 17:00-18:00 第2回 令和7年2月27日 13:30-15:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

専門学校におけるキャリア教育を通じて、退学抑止や卒業後の早期離職抑止に繋がるカリキュラム案の構築を検討していたが、委員より最も重要なのは人と人の関係、教員と学生の距離感であるとの意見があった。専門教育に+αの要素を見つけていく・学生との距離感、コミュニケーションを取っていくことに関して今後の検討課題とした。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

ドッグトレーナーは接客業であり、コミュニケーション力は必須のビジネススキルである。接客スキルの向上を目的に、高い接客技術 を持つ講師を派遣していただける企業を選定している。また、派遣された講師による年間を通じた定期的な指導から学修成果の評価を 行うなどの体制をとることが可能な企業を選定している。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

4月から1月にかけて、飼い主様との円滑なコミュニケーションを図り、適切なカウンセリングが行えるよう、接客対応の専門家から接 客対応について学んでいる。専門性の高い授業であり、知識を身に付けたことを確認するため、実技試験と課題による評価を実施して いる。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	科目概要	連携企業等
ビジネス接客マナー	動物業界におけるビジネスマナーとコミュニケーション技法を 習得し、飼い主と社会人として適切な会話ができることを目指 す。	浜松ビジネススクール
	インターンシップ先(就職先)で必要になる社会人ビジネス常識を身につける。	浜松ビジネススクール
接客ロールプレイ・ 飼主カウンセリング	身につけた問題行動の知識を使って、飼い主カウンセリングが できる。	浜松ビジネススクール

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。) の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

就業規則 第26条(教育)に定める通り、職員は常に教養と品性を高め、学校が期待する社員像を目指して研鑽に努めなければならな い。そのために学校は職員に対して一般的または職務上必要な一般的な知識および情報に関する教育、専門的な知識、技能に対する教 育、管理、監督者教育などの教育を行う。研修等については教務責任者が職員の職能や今後の中・長期的な学校運営を考慮して計画 し、実施する。また、当初の計画にない場合でも、必要に応じて実施する。

(2) 研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: ANIMALPIC FESTA in 浜名湖 連携企業等: 株式会社 COREZON

令和5年9月30日(土)-10月1日(日) 期間: 対象: ドッグ・ウェルネス科 教務2名

本校で強化しているペットツーリズムの一環として、ペットと一緒にアウトドアを楽しむという、新しいライフスタイ 内容 ルを提案するイベントの企画検討スタッフとして参加した。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: マナーアップ研修 連携企業等: 株式会社 浜松ビジネススクール

期間: 令和6年3月4日(月) 対象: ドッグ・ウェルネス科 教務2名

接遇マナーとして印象管理、身だしなみ、来客応対と訪問マナー、電話応対等のビジネススキルの習得。 内容

(3) 研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: ペットツーリズム取材の方法と実践 連携企業等: THE SCENE hamanako

対象: ドッグ・ウェルネス科 教務2名 期間:

本校で強化しているペットツーリズムの一環として、ペットと一緒に宿泊体験を行うことで、その楽しさを伝えるこ 内容

と、そして受け入れ側のサービス接遇等を学ぶ。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: webライティング講座 連携企業等: 浜松浜名湖ツーリズムビューロー

期間: 令和6年度内 対象: ドッグ・ウェルネス科 教務1名

ペットツーリズム等の情報発信について、SNSやブログ等におけるSEO対策から読者に伝わる文章や写真についてレク 内容

チャーを受ける。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

、就職先企業関係者、職能団体関係者等により構成される学校関係者評価委員会により、年度末に実施する「自己点検・評価」を外部の 目線で評価し、あわせて授業視察、学内施設見学を実施することにより、ルネサンス デザイン・美容専門学校および専門学校ルネサ ンス・ペット・アカデミーにおける教育の質保証・向上を図る。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	1 教育理念・目標
(2)学校運営	2 学校運営
(3)教育活動	3 教育活動
(4)学修成果	4 学修成果
(5)学生支援	5 学生支援
(6)教育環境	6 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	7 学生の受入れ募集
(8)財務	9 財務
(9) 法令等の遵守	8 教育の内部質保証システム
(10) 社会貢献・地域貢献	10 社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	11 国際交流(必要に応じて)

- ※(10)及び(11)については任意記載。
- (3) 学校関係者評価結果の活用状況
- 卒業生フォロー体制について、再就職希望者への窓口はあったほうが良い
- → 再就職希望者問い合わせ用メールアドレスを作成し、ホームページ内「卒業生ページ」に設置 就職課を窓口として、次回WEBサイト更新時に公開予定

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
上野弘道	公益社団法人日本動物病院協会 専務理事	令和5年4月1日~令和7年3月31日	業界・団体
望月智	株式会社ジェットスタジオ 取締役	令和5年4月1日~令和7年3月31日	企業等
平井伸幸	株式会社レボル 代表取締役社長	令和5年4月1日~令和7年3月31日	企業等
坂元祥彦	一般財団法人 動物看護師統一認定機構 理事	令和5年4月1日~令和7年3月31日	業界・団体

- ※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
- (例) 企業等委員、PTA、卒業生等
- (5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

))

URL: https://www.rap.ac.jp/about/information/documents/2023_report.pdf

公表時期: 令和6年5月12日

- 5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を 提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

在校生の出身高等学校に対しては、年数回の高校訪問において在籍状況、就職活動進捗などをリアルタイムで報告・情報提供/収集 し、学生指導の質的向上を図る。公式Webサイトは主に入学希望者とその保護者、就職企業等に対する情報提供、Facebookページは卒 業生に向けた情報発信と、役割を分ける。学校運営状況については毎年財務状況に関する書類を公開・更新する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

(と)「中门子校に850の間報提供するの状態に関するのイトライン」の項目との対応						
ガイドラインの項目	学校が設定する項目					
(1) 学校の概要、目標及び計画	理事長挨拶 法人概要 沿革(公式WEBサイト)					
(2) 各学科等の教育	学科紹介(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)					
(3)教職員	講師・設備(公式WEBサイト)					
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職実績(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)					
(5)様々な教育活動・教育環境	授業ブログ(公式WEBサイト)					
(6) 学生の生活支援	学科紹介・保護者の皆様へ(公式WEBサイト)					
(7) 学生納付金・修学支援	募集要項(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)					
(8)学校の財務	財務計算に関する書類(公式WEBサイト)					
(9)学校評価	自己点検・評価および学校関係者評価報告書(公式WEBサイト)					
(10)国際連携の状況	_					
(11) その他	_					
N						

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法 ホームページ

・ 広報誌等の刊行物 ・ (その他)(説明会での説明))

URL: https://www.rap.ac.jp/about/information/

公表時期: 随時

授業科目等の概要

(専門課程(分類		程(:	文化・教養関係) ドッグ・ウェルネス	A)		1			- NI		Lin	1	111			
	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	業時	単位数	畫		実験・実習	場 校 内	校		兼	企業等との連携
1	0			人と動物の関係学 I	【集中講義】人と動物の絆(HAB)の理念と動物介在活動・療法・教育など社会活動を理解し、人と動物の共生に寄与する。	1 · 通	15		0				0		0	
2	0			ドッグ・ウェルネス概論	犬の健康維持・増進のための生理・習性・生態等について、ペット栄養学、しつけ学、動物福祉等を学び、ドッグトレーナーとして顧客対応する際の基礎知識を体得する。		54		0			0		0		
3	0			心理学概論	広い視野でものごとを捉えられるしなやかな心を持つ。授業を受ける 前後で、ものごとの捉え方が変わった事を認識出来る。	1 • 前	22		0			0			0	
4	0			動物看護学 I	犬猫のかかりやすい病気や感染症の感染経路、予防法を理解すると共に、身体の構造、筋骨格・呼吸器・消化器・循環器・泌尿器・内分泌系の機能を理解し、ペットショップや動物病院で働く知識を身につける。	Ľ	54		0			0		0		
5	0			飼養管理士総論	動物関連の法規について理解を深め、個体に合った適正飼育を飼い主に指導できる愛玩動物飼養管理士2級合格を目指す。	1 · 通	54		0			0			0	
6	0			ドッグフィットネス概論 I	動物のフィットネスの歴史と現状を知り、犬のウェルネスケアと管理 の重要性を理解する。	1 · 通	27				0	0			0	
7	0			ペット産業研究	ペットビジネスの基礎知識としてペット業界を俯瞰する。流通・小売 の知識を活かし、職場で実践できる。	1 · 通	54		0			0		0		
8	0			行動学	ドッグトレーナーとして犬の行動学の知識を吸収し、その知識を飼い 主へフィードバックできるようにする。	1 · 通	26				0	0			0	
9	0			ドッグトレーニング実習 I	犬のモチベーションをコントロールし、正の強化・負の罰を主とした トレーニング技術を習得できることを目指す。	1 · 通	108				0	0		0		
10	0			ドッグフィットネス実習 I	プールやバランスボールなどを使った、ドッグフィットネスの技術習 得を目指す。	1 · 通	54				0	0			0	
11	0			動物看護実習I	動物病院で必要とされる動物病院スタッフの役割を理解し、消毒・滅菌・保定・診察業務全般スキルの習得を目指す。	1 · 通	108				0	0		0		
12	0			グルーミング実習	犬のグルーミングに関する知識と技術を学び、コミュニケーションカ とグルーミング技術の習得を目指す。	1 · 通	56				0	0			0	
13	0			動物飼育実習 I	動物取扱者として必要な、犬・猫・ウサギ・モルモット・ハムスター・インコの適切な飼育方法を理解習得する。	1 · 通	54				0	0		0		
14	0			健康管理実習	ライフステージに応じた健康維持・増進の方法を学び、飼い主にアド バイスができる。	1 · 後	32				0	0			0	
15	0			浜松市動物愛護教育センター実習	動物愛護センターで保護されている犬のトレーニングを行い、動物保護の現状を理解する。	1 • 後	6				0		0	0		
16	0			動物関連施設実習	最先端動物関連施設視察研修を行い、業界の広がりを知り、将来の きっかけをつくる。	1 特 別	30				0		0	0		
17	0			ビジネス接客マナー	動物業界におけるビジネスマナーとコミュニケーション技法を習得し、飼い主と社会人として適切な会話ができること、およびサービス接遇検定3級合格を目指す。		54		0			0			0	0
18	0			コンピュータ実習I	WordとExcelの使い方を理解し、実践的に使用する事が出来るようにする。	1 · 前	22				0	0		0		
19	0			スマイルコミュニケーション	人前で運動・食事・しつけ指導を行っている最中でも、笑顔で楽しく 実技を行うことができる。	1 · 後	16		0			0			0	
20	0			一般常識	研修日誌や手紙の書き方、電話対応のしかたを実践的に学び、自己分析ができるようにする。	通	26		0			0		0		
21	0			就職実務I	就職活動に望む学生としての身だしなみや履歴書の書き方、面接練習 等を通して、目指す職種を明確にする。	1 • 後	16		0			0		0		
22	0			清掃I	トイレ・実習室・IR教室・校舎共有部分など、使う前よりきれいな清掃ができる。	1 • 通	27				0	0		0		
23	0			挨拶 I	笑顔で、明るいあいさつを、人より早くできる。	1 · 通	27				0	0		0		
24	0			ルネサンス・メソド	本校の原点となる理念や考え方履修し、専門知識・技術と両輪となる 学生の「人間カ向上」を図る。	1 • 通	20		0			0		0		
25	0			LHR	スケジュール管理・就職活動管理および書類提出納期管理を通して、 自己管理の習慣化ができる。	1 • 後	16		0			0		0		
26	0			人と動物の関係学Ⅱ	【集中講義】人と動物の絆(HAB)の理念と動物介在活動・療法・教育など社会活動を理解し、人と動物の共生に寄与する。	2 · 通	6		0				0		0	
27	0			ペット栄養管理士総論	ペット栄養学の観点から犬種ごとの特徴や疾患別の食事管理等を理解 する。	2 · 通	21		0			0		0		

1					2		П	ı			ı	- 1	-	
28	0		動物看護学Ⅱ	動物看護の視点から繁殖を学ぶと共に、内外部寄生虫についての分類 と予防法を理解する。	通		0			0		0		
29	0		犬種学・猫種学	それぞれの犬種・猫種の特徴や注意点、遺伝性疾患を理解する。	2 · 通	21	0			0		0		
30	0		ドッグトレーニング実習Ⅱ	1年次のトレーニング実習を応用し、自発的な行動を引き出すトレーニング方法の習得と問題行動対処法を理解し、マナーハンドラーテスト合格を目指す。	- 2 · ·	105			0	0			0	
31	0		動物看護実習Ⅱ	動物病院における実務を理解し、動物看護師として働く際の補助作業 を実践的に学ぶ。	2 · 通	42			0	0		0		
32	0		ドッグスポーツ・ハンドリング実習	様々なドッグスポーツを犬に教えることで、犬の個性を掴み、ハントリングカの向上を目指す。	ž • 通	84			0	0		0		
33	0		浜松市動物愛護教育センター実習	動物愛護センターで保護されている犬のトレーニングを行い、動物係護の現状を理解する。	2 · 通	6			0		0	0		
34	0		動物飼育実習Ⅱ	動物の世話を1年生に指導することで、実践力と応用力、また正確性 と迅速性を身につける。	ž 前	20			0	0		0		
35	0		一般犬トレーニング実習	一般の飼い主様から犬をお借りし、一般家庭犬のトレーニング方法や飼い主様への対応を習得し、実践力を身につける。	通	84			0	0		0		
36		0	[選択A] 動物病院実務	動物病院での実務的項目を反復学習し、動物病院スタッフとして求め られる知識・技能を身につけた上で、顧客対応ができる。	2 · 通	16			0	0		0		
37		0	[選択A] ペット栄養実習	ペットに必要な栄養素や食餌管理の基礎を学び、その応用として栄養 指導の実践力を身につける。	2 · 通	40			0	0			0	
38		0	[選択A] ペットツーリズム	ペット業界を俯瞰し、自身の職業観を広げる。また、ペットイベント やペットツーリズムにおいて犬と同伴で利用できる施設やサービスを 理解し、飼い主等にその概要や利用の際のしつけマナー等について記 明できる。	<u>ا ۲</u>	28			0	0	0	0		
39		0	[選択B] ドッグフィットネス概論Ⅱ	ハイドロセラピスト2級相当、ドッグアロマケアアドバイザー相当の 技術を身につけ、事前説明・施術・術後ケアまですべてが行える。	2 · 通	42			0	0			0	
40		0	[選択B] ドッグフィットネス実習Ⅱ	プールやバランスボールなどを使った、フィットネスの技術習得を目指す。	2 · 通	42			0	0			0	
41	0		海外授業	海外最先端のウェルネスケアを学び、日本流ペットケアの在り方やE本のペット業界の未来を考える。	2 · 後	30			0		0	0		
42	0		インターンシップ	インターンシップを通して、プロとなるために不可欠な課題の発見と あるべき姿を明確にする。	· 前	200			0		0	0		0
43	0		ビジネスコミュニケーション	インターンシップ先(就職先)で必要になる社会ビジネス常識を身につける。	2 · 前	10	0			0			0	0
44	0		接客ロールプレイ・飼主カウンセリン グ	身につけた問題行動の知識を使って、飼い主カウンセリングができる。	· · 後	11	0			0			0	0
45	0		就職実務Ⅱ	就職活動の本格化と早期内定に向けて、履歴書作成・社会保障の理解、面接対策を行う。	2 · 前	10	0			0		0		
46	0		清掃Ⅱ	トイレ・実習室・IR教室・校舎共有部分など、使う前よりきれいな滞掃ができる。	2	21			0	0		0		
47	0		挨拶Ⅱ	笑顔で、明るいあいさつを、人より早くできる。	2 · 通	21			0	0		0		
48	0		実務実習	動物業界の現場において、社会人として、また新人スタッフとしての 心構えと役割を学ぶ。	2 · 後	120			0	0		0		
49	0		LHR	スケジュール管理・就職活動管理および書類提出納期管理を通して、 自己管理の習慣化ができる。	2 · 前	11	0			0		0		
			 合計	4	9 7	科目			2053		È	単位	(単	.位時間)

卒業要件及び履修方法	授業期	間等
卒業要件: 卒業制作合格 成績評価がすべてC以上 年間要出席日数の80%以上出席	1 学年の学期区分	2 期
履修方法: 必修/選択必修科目を対面またはオンラインにて受講	1 学期の授業期間	1期:4/1-8/31 2期:9/1-3/31

(留意事項

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		該	置認可年月	日 柞	交長名			所在地		
専門学校ルネサン		平	成21年3月25	5日 中野	勘次郎	〒 (住所)	430-0943 静岡県浜松市中央[区北田町134-38		
ト・アカデミン・設置者名			立認可年月		表者名	(電話)	053-455-2550	所在地		
					<u>衣石石</u> 里事長	Ŧ	430-0943			
学校法人爽育	「 会	<u>Ψ</u>	成20年3月21		勘次郎	(住所) (電話)	静岡県浜松市中央I 053-450-0820	区北田町130-12		
分野		認定課程	名	認定学科]士認定年度	高度専門士認定	生年度 職業実践	専門課程認定年度
文化・教養	専門課程	〕(文化・	教養関係)	動物海洋飼育・ア (陸コー		平成	27(2015)年度	-	平成	26(2014)年度
学科の目的	幅広い知	識をお客様	と動物たちに			ピけ橋になれ	いる飼育員を育成する	0		
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)		資格:サー 者:0人(中		≅3級/愛玩動物飼養管	理士2級					
修業年限	昼夜	全課程の何	多了に必要な 位数	総授業時数又は総単 女	講義	i	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	※単位時間 に記入	単位いずれか	1,996 単位時間 単位	544	単位時間単位	0 単位時間	1,452 単位時間 単位	0 単位時間	0 単位時間
生徒総定員	生徒身	€員(A)	留学生数	(生徒実員の内数) (B)	留学生割合			,	. –	
100 人	63	Д		0 人	0	%				
	■卒業者			43		人	<u> </u> -			
	■就職希	望者数(0)	43		<u> </u>	=			
	■就職者	·数(E) :職者数(E)	43 27		<u> </u>	=			
	■地元級		1	100		人 %	=			
	_ ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	. , .	也元就職者の	割合 (F/E)			=			
	■☆类≠	によめて当	職者の割合	(E/C)		%	-			
	■午来有	トロめる別	・戦争の割合	(E/G) 100		%				
就職等の状況	■進学者			0		Ž.	-			
1701-04 17 ₹ 77 1/1 1/10	■その他	ļ.								
	(令和	5	年度卒業者に	関する令和6年5月1	日時点の情報)					
		職先、業								
		度卒業生)								
			ョップ、ペ・	ットショップ他						
			等から第三				無			
第三者による	※有の場合	ご、1991 たほん	トについて任	息記載						
学校評価		評価団体:			受審年月:		1	評価結果を掲載した ホームページURL		
								ホームページURL		
当該学科の	h. 4. 4 / /			- / /						
ホームページ URL	nttps.//	www.rap.a	c.jp/cours	e/ac/						
	/ A NM /	+n+881- L	7 年 中 \							
	(A:里1	立時間によ								
		総授業時数	d						2,016 単位時間	
			うち企業等と	連携した実験・実習	・実技の授業時数	女			0 単位時間	
			うち企業等と	連携した演習の授業	导数				0 単位時間	
			うち必修授業	時数					1,836 単位時間	
			2 2 2 12 12 1	うち企業等と連携し	ト心体の宝除・1	空・宝はの	1		0 単位時間	
							7. 文末时奴			
				うち企業等と連携し					0 単位時間	
企業等と連携した			(うち企業等	と連携したインター	ンシップの授業®	寺数)			200 単位時間	
実習等の実施状況										
(A、Bいずれか に記入)	(B:単位	立数による	算定)							
IC BUX		総授業時数	<u></u>						単位	
				連携した実験・実習	・実技の授業時数	Ż			単位	
				連携した演習の授業					単位	
					9X (*)					
			うち必修授業				In the state of		単位	
				うち企業等と連携し			授業時数		単位	
				うち企業等と連携し	と必修の演習の拍	受業時数			単位	
			(うち企業等	と連携したインター	ンシップの授業	寺数)			単位	
		•								
	1									
		① 声终**	を校の専門部1	星を修了した後 学坛	等においてその					
		担当する教	女育等に従事し	星を修了した後、学校 した者であって、当該	専門課程の修業	(車條学	校設置基準第41条第1項	(第1号)	2 人	
		年限と当記者	※条務に従事し	した期間とを通算して	八年以上となる	,			= / \	
		② 学士0)学位を有する	6者等		(専修学	校設置基準第41条第1項	(第2号)	2 人	
数号の屋地 / 古に		③ 草笋片	单校教諭等経 場	金老		(市終学	校設置基準第41条第1項	(第3年)	0 人	
教員の属性(専任 教員について記										
入)		④ 修士()学位又は専門	門職学位		(専修学	校設置基準第41条第1項	(第4号)	0 人	
		⑤ そのff	ь			(専修学	校設置基準第41条第1項	第5号)	0人	
		計							3 人	
		п							٠,	
		上記①~億	のうち、実利	務家教員(分野におけ	るおおむね5年	以上の実務の	D経験を有し、かつ、7	高度の実	2 1	
			有する者を						3 人	

- 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編 成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
- ・挨拶、掃除は社会人の初歩的かつ重要技能と位置付け、企業との連携授業においても徹底する。
- ・「就職後にこそ伸びシロのある」人材育成のために、接客やコミュニケーションスキルを必須履修事項として取り組む。
- ・教育課程編成委員会、企業訪問を実施し、業界の動向や必要とされる技術の実態を常に刷新する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

委員会は専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーの教育課程の編成に対し、年2回開催される教育課程編成委員会にて意見を発し、また教育課程の運営を評価する権限を有する。教育課程編成委員会での討議内容は議事録として残し、学科長を中心に次年度学科運営計画を策定。学校長の承認を経て、講師会にて常勤・非常勤講師に共有する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

会和6年9月30日現在

名前	所 属	任期	種別
中野 勘次郎	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 学校長	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	
中野 良太	学校法人爽青会 副理事長	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	
藤原 研一	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 副校長	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	
堀内 貴充	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	
小亀 雅也	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	
山﨑 千華	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	
熊本 恵実	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	
原理史	中部大学 中部高等学術研究所 国際ESD・SDGsセンター	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	2
山崎 宏 様	NPO法人ホールアース自然学校 代表理事	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	3

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)

 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、
 - 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (7月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年9月27日 16:00-17:30

第2回 令和7年2月4日 13:30-15:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

- ・コロナ禍における採用と新入社員の変化を確認すると、よりインターン実習(現場経験)の必要性を訴えていた。学生の成長面、 採用側の学生理解の両面において、インターンの積極的な参加を継続し実施する。
- ・動物園や水族館でのコロナ時の実際の苦労や対処の具体例は、時事問題の1つとして『動物園水族館学Ⅱ』のシラバスの1コマに組 み込まれた。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

(前育員としてのさまざまな視点を養うため、講義・実習を含めて現役の飼育員やトレーナーを派遣して授業を行ってくれる企業を選出している。期末試験、実習日誌などをもとに、評価を頂く。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

4月から7月にかけて、繁殖やドルフィン研修、展示方法において、自然と動物、人をつなぐ飼育人になることを目的として、現役の プロから実践的に学んでいる。専門性の高い授業であり、知識・技術を身に付けたことを確認するため、実技試験と課題による評価 を実施している。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
	馬の解剖生理や飼育管理方法などを学び、現場での作業 意図を理解できる。	パロミノポニークラブ
	鳥の解剖生理や飼育管理方法などを学び、現場での作業 意図を理解できる。	掛川花鳥園

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。) の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

就業規則 第26条(教育)に定める通り、職員は常に教養と品性を高め、学校が期待する社員像を目指して研鑽に努めなければならな い。そのために学校は職員に対して一般的または職務上必要な一般的な知識および情報に関する教育、専門的な知識、技能に対する 教育、管理、監督者教育などの教育を行う。研修等については教務責任者が職員の職能や今後の中・長期的な学校運営を考慮して計 画し、実施する。また、当初の計画にない場合でも、必要に応じて実施する。

(2) 研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: テンジクネズミ繁殖失敗の共有と検証 連携企業等: 豊橋総合動植物公園

動物海洋飼育・アクアリウム科 教務 対象: 期間: 令和6年3月5日(火)

部 1名

動物園獣医師による生体解剖の結果共有と検証 内容

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: マナーアップセミナー 連携企業等: 浜松ビジネススクール

動物海洋飼育・アクアリウム科 教務 令和6年3月4日(月) 期間:

職員のレベルアッフと字生同けの指導力同上の為

内容 <u>信頼感を与える立ち居振る舞いやビジネスにふさわしい言葉選び等を職員向けに学ぶ</u>

(3) 研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

連携企業等: 一般財団法人 南アルプスみらい財団 研修名: 登山引率講習

動物海洋飼育・アクアリウム科 教務 期間: 令和6年9月予定

対象: 部 2名

南アルプス登山の研修を実施する為の、下見と安全講習について学ぶ 内容

②指導力の修得・向上のための研修等

環境教育研修 連携企業等: 一般財団法人公園財団 プロジェクトワイルド事務局 研修名:

動物海洋飼育・アクアリウム科 教務 令和6年12月10日(日) 期間:

環境教育プログラムについての研修を受けファシリテーション技術を学ぶ 内容

「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、 |評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

就職先企業関係者、職能団体関係者等により構成される学校関係者評価委員会により、年度末に実施する「自己点検・評価」を外部 の目線で評価し、あわせて授業視察、学内施設見学を実施することにより、ルネサンス デザイン・美容専門学校および専門学校ルネ サンス・ペット・アカデミーにおける教育の質保証・向上を図る。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	1 教育理念・目標
(2)学校運営	2 学校運営
(3)教育活動	3 教育活動
(4)学修成果	4 学修成果
(5)学生支援	5 学生支援
(6)教育環境	6 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	7 学生の受入れ募集
(8)財務	9 財務
(9) 法令等の遵守	8 教育の内部質保証システム
(10) 社会貢献・地域貢献	10 社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	11 国際交流(必要に応じて)

- (10)及び(11)については任意記載。
- (3) 学校関係者評価結果の活用状況
- 卒業生フォロー体制について、再就職希望者への窓口はあったほうが良い
- 再就職希望者問い合わせ用メールアドレスを作成し、ホームページ内「卒業生ページ」に設置 就職課を窓口として、次回WEBサイト更新時に公開予定

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
上野弘道	公益社団法人日本動物病院協会 専務理事	令和5年4月1日~令和7年3月31日	業界・団体
望月智	株式会社ジェットスタジオ 取締役	令和5年4月1日~令和7年3月31日	企業等
平井伸幸	株式会社レボル 代表取締役社長	令和5年4月1日~令和7年3月31日	企業等
坂元祥彦	一般財団法人 動物看護師統一認定機構 理事	令和5年4月1日~令和7年3月31日	業界・団体

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(URL:

https://www.rap.ac.jp/about/information/documents/2023_report.pdf

令和6年5月12日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報 を提供していること。」関係

))

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

在校生の出身高等学校に対しては、年数回の高校訪問において在籍状況、就職活動進捗などをリアルタイムで報告・情報提供/収集 し、学生指導の質的向上を図る。公式Webサイトは主に入学希望者とその保護者、就職企業等に対する情報提供、Facebookページは卒 業生に向けた情報発信と、役割を分ける。学校運営状況については毎年財務状況に関する書類を公開・更新する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

	(ME) = [X] / G / T J F G / X E G / M / M
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	理事長挨拶 法人概要 沿革(公式WEBサイト)
(2) 各学科等の教育	学科紹介(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(3)教職員	講師・設備(公式WEBサイト)
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職実績(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(5)様々な教育活動・教育環境	授業ブログ(公式WEBサイト)
(6) 学生の生活支援	学科紹介・保護者の皆様へ(公式WEBサイト)
(7)学生納付金・修学支援	募集要項(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(8)学校の財務	財務計算に関する書類(公式WEBサイト)
(9)学校評価	自己点検・評価および学校関係者評価報告書(公式WEBサイト)
(10) 国際連携の状況	_
(11) その他	_

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

URL:

広報誌等の刊行物 ・ (その他)説明会での説明))

(休一ムページ) https://www.rap.ac.jp/about/information/

公表時期: 随時

授業科目等の概要

	(専門課程		(文化・教養関係) 動物海洋飼育・アイ	フアリウム科(陸コース))			1	120	2 AIK	- \-	тв	=r	+/_	- I	
	必修	選択必修	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数		漢	実験・実習		校		兼	企業等との連携
1	0		人と動物の関係学 I	人と動物の関係に関して、現代社会における動物関連諸問題への関心 を高められる。	1 · 通	15		0				0		0	
2	0		飼養管理士総論	動物飼養に関する知識の習得を通じ、愛玩動物飼養管理士2級の資格 取得ができる。	1 • 通	54		0			0			0	
3	0		犬猫管理学	犬・猫の成長やしつけ、食餌、解剖生理など全般の基礎知識を学び、 正しい説明ができる。	1 • 通	27		0			0		0		
4	0		鳥類学	鳥の解剖生理や飼育管理方法をなど学び、現場での作業意図を理解できる。	1 · 前	22		0			0			0	0
5	0		トピックス	現場で活躍する講演者の話を聞いて、さらなる探求心を発揮できる。	1 · 前	33		0			0		0		
6	0		動物園水族館学 I	動物園・水族館の社会に対する役割や専門用語について正しい説明が できる。	1 · 前	22		0			0		0		
7	0		自然環境学	地球の仕組みを理解し、国際的な取り組みと地球環境を学び、自分の 考えを持つ事ができる。	1 · 前	22		0			0		0	0	
8	0		動物関連施設実習	最先端動物関連施設 (動物園・水族館等) 視察研修を行い業界の広が りを知り、将来のきっかけをつくる。	1 • 特別	30				0		0	0		
9	0		動物飼育実習 I	学校飼育動物(イス・ネコ・ハムスター・モルモット・フェレット・ウサギ・インコなど)を通して飼育管理の基礎ができる。	1	40				0	0		0		
10	0		アニマルトレーニング実習 I	犬のトレーニング技術と行動学を通じ、接し方の基礎を押さえた馴致 ができる。	1 · 通	54				0	0		0		
11	0		動物看護実習 I	動物の健康管理、滅菌、消毒、各種検査を学び、基本的検査手順を進 める事ができる。	1 · 前	22				0	0		0		
12	0		飼育実習 陸 I	学校飼育動物(チンチラ・フクロモモンガ・スナネズミ・ハリネズミ・カメ・^ビ・トカゲなど)を通して基本的な飼育管理ができる。	1 · 通	122				0	0		0		
13	0		飼育実習 水 I	学校飼育魚類(淡水魚・海水魚)を通して基本的な飼育管理ができ る。	1 · 通	121				0	0		0		
14	0		学外演習 I	飼育施設と現場スタッフの講義等を通して、業界と飼育員像を理解で きる。	1 • 後	112				0		0	0		
15		0	【選択】畜産学実習	畜産動物の業界や家畜の解剖生理・病気の治療などを知り、就職先の 1つとして検討できる。	1 • 後	48				0	0			0	
16		0	【選択】ダイビング実習	潜水士試験の突破 及び PADIオーブンウォーターダ イーバーの資格取得を出来るようになる。	(1 ・後)	(48)				0		0		0	
17	0		コンピュータ実習	ワード、パワーポイント等の基本的な使用方法を身に付け、パソコンでのレポート作成ができる。	1 · 前	22				0	0		0		
18	0		プ゚レセ゚ンテーショントレーニンク゚ I	ビジネスマナーとプレゼンテーションを学び、不安なく人前で発表する事、及びサービス接遇検定3級合格を目指す。	1 · 通	54		0			0			0	
19	0		挨拶I	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践することにより、社会で必要 とされる能力を身に付ける。	1 · 通	27				0	0		0		
20	0		掃除Ⅰ	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実践することにより、社 会で必要とされる能力を身に付ける。	1 • 通	27				0	0		0		

0	
0	
0	
0	
0)
0	
0	
0	
0	
0	0
0)
0	
0	
0)
0	
0	
0	
0	
0)
0)
0	
0)
0)
0	0
0	0 0

45	0		海外授業	海外における園館視察や研修を通じ世界で、動物飼育・ペットケアの ありかたを学び、日本流のあり方を見出す。	2 · 後	30		0	()	
46	0		スマイルコミュニケーション	ガイドや日常生活の最中でも、笑顔で楽しく実技・会話を行うことが できる。	2 · 前	10	0		0		0	
47	0		プ゚ レセ゚ ンテーショントレーニンク゚ II	プレゼンテーションの経験を重ね、インターンなど学外でも自信ある 発表ができる。	2 · 通	42	0		0		0	
48	0		挨拶Ⅱ	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践することにより、社会で必要 とされる能力を身に付ける。	2 • 通	21		0	0	C)	
49	0		掃除Ⅱ	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実践することにより、社 会で必要とされる能力を身に付ける。	2 • 通	21		0	0	0	0	
50	0			就職活動の本格化と早期内定に向けて、情報収集、個別調査や具体的 準備な面接対策などを実施する。	2 • 前	10	0		0	C		
51	0		一般常識Ⅱ	動物園・水族館・実験動物業界等の多様な採用試験における、一般教 養(筆記)試験での突破を目指す。	2 · 前	10	0		0	C		
52	0		LHRII	スケジュール管理・就職活動管理および書類提出納期管理を通して、 自己管理の習慣化ができる。	2 · 前	10	0		0	C		
53	0			動物業界の現場において、社会人としてまた新人スタッフとしての心 構えと役割を学ぶ。	2 · 後	120		0	0	C)	
			合計	53	禾	4目		2016		単位	立 (主	単位時間)

卒業要件及び履修方法	授業期	間等
卒業要件: 卒業制作合格 成績評価がすべてC以上 年間要出席日数の80%以上出席	1 学年の学期区分	2 期
履修方法: 必修/選択必修科目を対面またはオンラインにて受講	1 学期の授業期間	1期:4/1-8/31 2期:9/1-3/31

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		Ē	设置認可年月1	B ;	校長名			所在地			
専門学校ルネサン		31/	成21年3月25	о о	勘次郎	T (A) 55()	430-0943 静岡県浜松市中区	lk m m⊤13/1_38			
ト・アカデミ						(住所) (電話)	053-455-2550				
設置者名		Ē	设立認可年月		表者名	=	430-0943	所在地			
学校法人爽青	青会	ग	成20年3月21		理事長 引力 勘次郎	(住所)	静岡県浜松市中区	比田町130-12			
分野		認定課程	星名	認定学		(電話)	053-450-0820 引士認定年度	高度専門士認定	至年度 職	業実践	専門課程認定年度
文化・教養	声門 理£		教養関係)	動物海洋飼育・ア		ᄑᄨ	27(2015)年度				6(2014)年度
文化 教養	守门床位	≝ (X1L・	双 食医床/	(水コー	-ス)	十八	27(2013) 平及			十八2	0 (2014) 平及
学科の目的	幅広い知	識をお客様	と動物たちに	還元し、自然・動物	・人をつなぐ架に	け橋になれる	飼育員を育成する。				
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)		資格:サー 者:0人(中		3級/愛玩動物飼養管	理士2級						
修業年限	昼夜	全課程の	修了に必要な 位数	総授業時数又は総単	講義		演習	実習	実験		実技
2 年		※単位時間 に記入	、単位いずれか	2,016 単位時間	564	単位時間単位	0 単位時間 単位	1,452 単位時間 単位	0 単位		0 単位時間 単位
生徒総定員	生徒実	ミ員 (A)	留学生数	(生徒実員の内数) (B)	留学生割台	à (B/A)	l				
100 人	81	Д		0 人	0	%					
	■卒業者			43		人					
		望者数(D)	43		<u> </u>	-				
	■就職者 ■地元就	· 	F)	43 27		<u> </u>	=				
	■就職率	(E/D)		100		%	- -				
	■就職者	に占めるカ	也元就職者の割	J合 (F/E) 63		%					
	■卒業者	に占める前	忧職者の割合(E/C)			=				
	■進学者	-数		100		人	=				
就職等の状況	■進子日			0		^					
	(令和	5	年度卒業者に関	関する令和6年5月1E	時点の情報)						
	■主な就	職先、業	界等								
		度卒業生)	- ·								
	水族館、	アクアシ	ョッフ、ベッ	トショップ他							
			等から第三者				無				
第三者による	※有の場合	1、例えばり	以下について任意	記載							
学校評価		評価団体:			受審年月:		9	平価結果を掲載した トームページURL			
W=+#410							•	, A · Joke			
当該学科の ホームページ	https://	www.rap.a	ac.jp/course,	/ac/							
URL											
	(A:単位	立時間によ	る算定)								
		総授業時数	数						2,016 単作	位時間	
			うち企業等と	連携した実験・実習・	実技の授業時数				0 単1	位時間	
			うち企業等と	連携した演習の授業時	数				0 単1	位時間	
			うち必修授業団	時数					1,836 単作	位時間	
				うち企業等と連携し	た必修の実験・実	習・実技の	受業時数		0 単1	位時間	
				うち企業等と連携し	た必修の演習の授	業時数			0 単1	位時間	
A 31/44 1			(うち企業等)	と連携したインターン					200 単1		
企業等と連携した 実習等の実施状況											
(A、Bいずれか	(B·単作	立数による	質定)								
に記入)		総授業時数							単	付	
				連携した実験・実習・	実技の授業時数				単		
				連携した演習の授業時					単		
			うち必修授業		~				単		
			プラルデッコス米に	うち企業等と連携し	た 必修の宝 段・中	翌・宝せの	恶 業				
							又术时奴		単作		
			/=+ A=M	うち企業等と連携し					単作		
			(うち企業等)	と連携したインターン	シップの授業時	×)			単	ĪΛ	
		① 専修会	学校の専門課程	を修了した後、学校等 者であって、当該専門	においてその担 門課程の修業年限	(車條学	交設置基準第41条第1項	第1号)	1人		
				間とを通算して六年以					. ,		
		② 学士の	の学位を有する	者等		(専修学	交設置基準第41条第1項	第2号)	2 人]	
教員の属性(専任		③ 高等等	学校教諭等経験	者		(専修学	交設置基準第41条第1項	第3号)	0 人		
教員について記		④ 修士(の学位又は専門	職学位		(専修学	交設置基準第41条第1項	第4号)	0 人	-	
入)							交設置基準第41条第1項		0人		
		⑤ そのff	E			(等)等	人以巴奎华第41宋第1項	<i>x</i> , ∨ • 7			
		計							3 人		
					おおむね5年以	上の実務の終	E験を有し、かつ、高原	度の実務	2 人		
		の能力を有	有する者を想定)の数							
		·									

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
- ・挨拶、掃除は社会人の初歩的かつ重要技能と位置付け、企業との連携授業においても徹底する。
- ・「就職後にこそ伸びシロのある」人材育成のために、接客やコミュニケーションスキルを必須履修事項として取り組む。
- ・教育課程編成委員会、企業訪問を実施し、業界の動向や必要とされる技術の実態を常に刷新する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

委員会は専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーの教育課程の編成に対し、年2回開催される教育課程編成委員会にて意見を発 し、また教育課程の運営を評価する権限を有する。教育課程編成委員会での討議内容は議事録として残し、学科長を中心に次年度学 科運営計画を策定。学校長の承認を経て、講師会にて常勤・非常勤講師に共有する。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年9月30日現在

名 前	所 属	任期	種別
中野 勘次郎	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 学校長	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	
中野・良太	学校法人爽青会 副理事長	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	
藤原 研一	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 副校長	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	
堀内 貴充	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	
小亀 雅也	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	
山﨑 千華	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	
熊本 恵実	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	
原理史	中部大学 中部高等学術研究所 国際ESD・SDGsセンター	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	2
山崎 宏様	NPO法人ホールアース自然学校 代表理事	令和6年4月1日~令和7年3月31日(1年)	3

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、
 - 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (7月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年9月27日 16:00-17:30

第2回 令和7年2月4日 13:30-15:30

- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
- ・コロナ禍における採用と新入社員の変化を確認すると、よりインターン実習(現場経験)の必要性を訴えていた。学生の成長面、 採用側の学生理解の両面において、インターンの積極的な参加を継続し実施する。
- ・動物園や水族館でのコロナ時の実際の苦労や対処の具体例は、時事問題の 1 つとして『動物園水族館学 II 』のシラバスの1コマに組み込まれた。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

飼育員としてのさまざまな視点を養うため、講義・実習を含めて現役の飼育員やトレーナーを派遣して授業を行ってくれる企業を選出している。期末試験、実習日誌などをもとに、評価を頂く。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

4月から7月にかけて、繁殖やドルフィン研修、展示方法において、自然と動物、人をつなぐ飼育人になることを目的として、現役の プロから実践的に学んでいる。専門性の高い授業であり、知識・技術を身に付けたことを確認するため、実技試験と課題による評価 を実施している。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
馬学	馬の解剖生理や飼育管理方法などを学び、現場での作業意図を理解できる。	パロミノポニークラブ
鳥類学	鳥の解剖生理や飼育管理方法などを学び、現場での作業意 図を理解できる。	掛川花鳥園

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。) の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

就業規則 第26条(教育)に定める通り、職員は常に教養と品性を高め、学校が期待する社員像を目指して研鑽に努めなければならない。そのために学校は職員に対して一般的または職務上必要な一般的な知識および情報に関する教育、専門的な知識、技能に対する教育、管理、監督者教育などの教育を行う。研修等については教務責任者が職員の職能や今後の中・長期的な学校運営を考慮して計画し、実施する。また、当初の計画にない場合でも、必要に応じて実施する。

(2) 研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: テンジクネズミ繁殖失敗の共有と検証 連携企業等: 豊橋総合動植物公園

期間: 令和6年3月5日(火) 対象: 動物海洋飼育・アクアリウム科

ラ州0年3月3日(火) 対務: 教務部 1名

内容 動物園獣医師による生体解剖の結果共有と検証

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: マナーアップセミナー 連携企業等: 浜松ビジネススクール

期間: 令和6年3月4日(月) 対象: 動物海洋飼育・アクアリウム科

内容 職員のレベルアップと学生向けの指導力向上の為

信頼感を与える立ち居振る舞いやビジネスにふさわしい言葉選び等を職員向けに学ぶ

(3) 研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 登山引率講習 連携企業等: 一般財団法人 南アルプスみらい財団

期間: 令和6年9月予定 対象: 動物海洋飼育・アクアリウム科 対象: 教務部 2名

内容 南アルプス登山の研修を実施する為の、下見と安全講習について学ぶ

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 環境教育研修 連携企業等: - 般財団法人公園財団 プロジェクトワイルド事務局

期間: 令和6年12月10日(日) 対象: 動物海洋飼育・アクアリウム科 対象: 教務部 1名

内容 環境教育プログラムについての研修を受けファシリテーション技術を学ぶ

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、 評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

就職先企業関係者、職能団体関係者等により構成される学校関係者評価委員会により、年度末に実施する「自己点検・評価」を外部 の目線で評価し、あわせて授業視察、学内施設見学を実施することにより、ルネサンス デザイン・美容専門学校および専門学校ル ネサンス・ペット・アカデミーにおける教育の質保証・向上を図る。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	1 教育理念・目標
(2)学校運営	2 学校運営
(3)教育活動	3 教育活動
(4)学修成果	4 学修成果
(5)学生支援	5 学生支援
(6)教育環境	6 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	7 学生の受入れ募集
(8)財務	9 財務
(9) 法令等の遵守	8 教育の内部質保証システム
(10)社会貢献・地域貢献	10 社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	11 国際交流(必要に応じて)

※ (10) 及び (11) については任意記載

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

卒業生フォロー体制について、再就職希望者への窓口はあったほうが良い → 再就職希望者問い合わせ用メールアドレスを作成し、ホームページ内「卒業生ページ」に設置 就職課を窓口として、次回WEBサイト更新時に公開予定

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
上野弘道	公益社団法人日本動物病院協会 専務理事	令和5年4月1日~令和7年3月31日	業界・団体
望月智	株式会社ジェットスタジオ 取締役	令和5年4月1日~令和7年3月31日	企業等
平井伸幸	株式会社レボル 代表取締役社長	令和5年4月1日~令和7年3月31日	企業等
坂元祥彦	一般財団法人 動物看護師統一認定機構 理事	令和5年4月1日~令和7年3月31日	業界・団体

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

URL: https://www.rap.ac.jp/about/information/documents/2023_report.pdf

令和6年5月12日 公表時期:

「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報 を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

在校生の出身高等学校に対しては、年数回の高校訪問において在籍状況、就職活動進捗などをリアルタイムで報告・情報提供/収集 し、学生指導の質的向上を図る。公式Webサイトは主に入学希望者とその保護者、就職企業等に対する情報提供、Facebookページは 卒業生に向けた情報発信と、役割を分ける。学校運営状況については毎年財務状況に関する書類を公開・更新する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

	MET - IXI Y O D T T Y T P G O X I C O Y M
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	理事長挨拶 法人概要 沿革(公式WEBサイト)
(2) 各学科等の教育	学科紹介(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(3)教職員	講師・設備(公式WEBサイト)
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職実績(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(5)様々な教育活動・教育環境	授業ブログ(公式WEBサイト)
(6) 学生の生活支援	学科紹介・保護者の皆様へ(公式WEBサイト)
(7) 学生納付金・修学支援	募集要項(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(8)学校の財務	財務計算に関する書類(公式WEBサイト)
(9)学校評価	自己点検・評価および学校関係者評価報告書(公式WEBサイト)
(10) 国際連携の状況	_
(11) その他	_

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

広報誌等の刊行物 · (その他)説明会での説明)) (休一ムペ-

https://www.rap.ac.jp/about/information/ URL:

公表時期: 随時

授業科目等の概要

		門謂 分類		(文化・教養関係) 動物海洋飼育・アク				<u>+</u> =	2 # -	七注	担	ᇎᅵ	払	a		
		選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数		演習	実験・実習	校	<u>桥</u> 校外		兼	企業等との連携
1	0			人と動物の関係学I	人と動物の関係に関して、現代社会における動物関連諸問題への関心 を高められる。	1 · 通	15		0				0		0	
2	0			飼養管理士総論	動物飼養に関する知識の習得を通じ、愛玩動物飼養管理士2級の資格 取得ができる。	1 · 通	54		0			0			0	
3	0			犬猫管理学	犬・猫の成長やしつけ、食餌、解剖生理など全般の基礎知識を学び、 正しい説明ができる。	1 · 通	27		0			0		0		
4	0			鳥類学	鳥の解剖生理や飼育管理方法をなど学び、現場での作業意図を理解で きる。	1 · 前	22		0			0			0	0
5	0			トピックス	現場で活躍する講演者の話を聞いて、さらなる探求心を発揮できる。	1 • 前	33		0			0		0		
6	0			動物園水族館学 I	動物園・水族館の社会に対する役割や専門用語について正しい説明ができる。	1 • 前	22		0			0		0		
7	0			自然環境学	地球の仕組みを理解し、国際的な取り組みと地球環境を学び、自分の 考えを持つ事ができる。	前	22		0			0		0	0	
8	0			動物関連施設実習	最先端動物関連施設 (動物園・水族館等) 視察研修を行い業界の広が りを知り、将来のきっかけをつくる。	1 · 特 別	30				0		0	0		
9	0			動物飼育実習 I	学校飼育動物(イス・ネコ・ハムスター・モルモット・フェレット・ウサギ・インコなど)を通して飼育管理の基礎ができる。	1 · 通	40				0	0		0		
10	0			アニマルトレーニング実習 I	犬のトレーニング技術と行動学を通じ、接し方の基礎を押さえた馴致 ができる。	1 • 通	54				0	0		0		
11	0			動物看護実習 I	動物の健康管理、滅菌、消毒、各種検査を学び、基本的検査手順を進 める事ができる。	1 • 前	22				0	0		0		
12	0			飼育実習 陸 I	学校飼育動物(チンチラ・フクロモモンガ・スナネズミ・ハリネズミ・カメ・ヘビ・トカゲなど)を通して基本的な飼育管理ができる。	1 • 通	122				0	0		0		
13	0			飼育実習 水 I	学校飼育魚類(淡水魚・海水魚)を通して基本的な飼育管理ができ る。	1 • 通	121				0	0		0		
14	0			学外演習 I	飼育施設と現場スタッフの講義等を通して、業界と飼育員像を理解で きる。	1 · 後	112				0		0	0		
15		0		【選択】畜産学実習	畜産動物の業界や家畜の解剖生理・病気の治療などを知り、就職先の 1つとして検討できる。	1 . 後	48				0	0			0	
16		0		【選択】ダイビング実習	潜水士試験の突破 及び PADIオープンウォーターダイーバーの資格取得を出来るようになる。	(1・後)	(48)				0		0		0	
17	0			コンピュータ実習	ワード、パワーポイント等の基本的な使用方法を身に付け、パソコンでのレポート作成ができる。	1 · 前	22				0	0		0		
18	0			プ゚レセ゚ンテーショントレーニンク゚ I	ビジネスマナーとプレゼンテーションを学び、不安なく人前で発表する事、及びサービス接遇検定3級合格を目指す。	1 · 通	54		0			0			0	
19	0			挨拶 I	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践することにより、社会で必要 とされる能力を身に付ける。	1 • 通	27				0	0		0		
20	0			掃除I	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実践することにより、社 会で必要とされる能力を身に付ける。	1 · 通	27				0	0		0		
21	0			就職実務I	就職活動に臨む学生としての身だしなみ、履歴書の書き方、面接練習 等を通して、就職活動を開始できる。	1 · 後	32		0			0		0		
22	0			一般常識 I	動物園・水族館・アクアショップ・実験動物業界等の一般試験対策の きっかけをつくる。	1 · 後	16		0			0		0		

			1					 -,	-	-		-		
23	0			LHR I	スケジュール管理・就職活動管理および書類提出納期管理を通して、 自己管理の習慣化ができる。	1 · 前	11	0			0		0	
24	0			ルネサンス・メソド	本校の原点となる理念や考え方履修し、専門知識・技術と両輪となる 学生の「人間力向上」を図る。	1 · 通	20	0			0		0	
25	0			人と動物の関係学Ⅱ	HABがもたらす人と動物への影響を理解するとともに、現代社会における動物関連諸問題への関心が高まる。	2 · 通	6	0				0	C	
26	0			動物看護学Ⅱ	飼育や現場において看護に関する知識を利用することが出来る。	2 · 通	42	0			0		0	
27	0			動物園水族館学Ⅱ	歴史等を通して、動物園・水族館の存在価値や向き合う課題などを理解し持論を展開できる。	2 · 通	42	0			0		0	
28	0			動物福祉・健康学	動物種に合わせた動物福祉について学び、ペットのライフステージに 合わせた配慮ができる。	2 · 後	22	0			0		0	
29	0			ペットショップ実務	ペットショップなど扱う周辺器材や販売方法について正しく理解し活 用できる。	2 · 後	22	0			0		0	
30		0		【選択】馬学	馬の解剖生理や飼育管理方法など学び現場での作業の意図を理解できる。	2 · 前	20	0			0		C	0
31		0		【選択】水族館展示学	展示技法の長所短所を理解し「お客様を満足させる」展示の提案が出来るようになる。	2 · 通	(22)	0			0		C	
32	0			動物飼育実習Ⅱ	1年生のアシスタントとしての指導を通じ、世話と管理の飼い主への伝え方を実践できる。	2 · 前	30			0	0		0	
33	0			動物看護実習Ⅱ	1年次の履修を踏まえ、病院での基礎的補助作業を想定した、動きが できる。	2 · 後	22			0	0		0	
34	0			グルーミング実習	犬への関わり方と被毛管理技術を理解し、手入れやシャンプーに取り 組む事ができる。	2 · 後	16			0	0		C	
35	0			アニマルトレーニング実習Ⅱ	管理者側の主体性を発揮した馴致を、小動物などに対して実施できる。	2 · 通	42			0	0		0	
36	0			飼育実習 陸Ⅱ	各動物の管理方法の差異と同じ空間で飼育する要点を理解し、工夫を 考える事ができる。	2 · 通	79			0	0		0	
37	0			飼育実習 水Ⅱ	各々担当水槽を持ち、飼育管理の応用と総合的な管理を実践できる。	2 · 通	79			0	0		0	
38	0			学外演習Ⅱ	施設見学と講義の他に、飼育に関する実作業を体験し、1年次の課題 を克服できる。	2 · 前	70			0		0	0	
39	0			野生動物学実習	野生動物と人との関わり方など実践を通して学び、現場での作業の意 図を理解できる。	2 · 前	20	0			0		C	
40	0			環境教育実習	お客様に伝える環境教育の指導法を、相モデルの実践を通して学び、 活用できる。	2 · 後	22			0	0		C	
41	0			フィールドワーク	野生動物の生息環境について理解し、飼育環境において活用できる。	2 · 後	33			0		0	0	
42		0		【選択】移動動物園実習	移動動物園の運営を通して、飼育動物のふれあいを動物に安全にかつ 楽しく実施できるようになる。	2 · 後	22			0	0		C	
43		0		【選択】海洋哺乳類実習	水族館における展示の工夫やお客様へのサービスを理解し、実践できる。	2 · 前	(20)			0	0		C	
44	0			インターンシップ	希望職種へのインターンシップ実習を通して、プロとなるために不可欠な課題の発見ととあるべき姿を明確にする。	2 · 前	200			0		0	0	0
45	0			海外授業	海外における園館視察や研修を通じ世界で、動物飼育・ペットケアの ありかたを学び、日本流のあり方を見出す。	2 · 後	30			0		0	0	
46	0			スマイルコミュニケーション	ガイドや日常生活の最中でも、笑顔で楽しく実技・会話を行うことが できる。	2 · 前	10	0			0		C	
47	0			プレセ゚ンテーショントレーニンク゚ Ⅱ	プレゼンテーションの経験を重ね、インターンなど学外でも自信ある 発表ができる。	2 · 通	42	0			0		C	
48	0			挨拶Ⅱ	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践することにより、社会で必要 とされる能力を身に付ける。	2 · 通	21			0	0		0	

4	9 C)		掃除Ⅱ	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実践することにより、社 会で必要とされる能力を身に付ける。	2 · 通	21		0	0			
5	0 C)			就職活動の本格化と早期内定に向けて、情報収集、個別調査や具体的 準備な面接対策などを実施する。	2 · 前	10	0		0	C		
5	1 C)		一般常識Ⅱ	動物園・水族館・実験動物業界等の多様な採用試験における、一般教 養(筆記)試験での突破を目指す。	2 · 前	10	0		0	C		
5	2 C)			スケジュール管理・就職活動管理および書類提出納期管理を通して、 自己管理の習慣化ができる。	2 · 前	10	0		0	C		
Ę	3 C)			動物業界の現場において、社会人としてまた新人スタッフとしての心 構えと役割を学ぶ。	2 · 後	120		0	0	C		
Ē	合計		<u></u> 合計	53	Ŧ	排目	 	201	ĵ	単位	立 (自	单位時間)	

卒業要件及び履修方法	授業期	間等
卒業要件: 卒業制作合格 成績評価がすべてC以上 年間要出席日数の80%以上出席	1 学年の学期区分	2 期
履修方法: 必修/選択必修科目を対面またはオンラインにて受講	1 学期の授業期間	1期:4/1-8/31 2期:9/1-3/31

- (留意事項)
 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。